京城日報

十七日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 眞田直敎
印刷人 小川三之介

○前墺公使北京出發

前墺國公使フオンロストルン氏は十六日朝臨時列車にて北京を出發したるが支那軍隊之を護衛したり(北京特電)

○支那の出兵熱昂る

出征希望者多し=段總理の贊成

佛國公使は非公式に支那の出兵を要求せしより遽かに氣勢を擧げ政府も内々研究中にして兵士多數あれば大に好都合なるが此の上將校と武器さへあれば差當り十萬人を出兵し得べき見當付きたり而して青年軍人中には參加希望者多く前四川督軍尹昌衡中將哈漢章氏等何れも參戰したき旨を電請せり　國民の愛國心喚發と國内統一の政策上段總理も贊成せりと云へば漸次輿論を喚起すべし　猶ほ露國も亦借兵を希望し居れりと(北京特電)

○支那關稅改正委員會

支那關稅改正委員會は支那政府よりの回答を得たる上聯合國により任命さるべし此の會議は上海に召集すべし(北京電報)

○張鎭芳等は死刑か

代理院にて審判の張鎭芳と軍法會議にて審判の雷震春、馮德麟等の刑罰に輕重の差なきを期する爲め政府は代理院及び軍法會議の兩審判官を會同協議せしむべし其の判決は一週間を出でざる如く何れも死刑に處せらるゝものと一般に信じ居れり(北京特電)

露國内の騷亂

▲外人撤退要請

露都の形勢刻々不安となる

露國政府は十二日外交團に對し露都の形勢刻々不安となれり外國人の生命財産を保障し得ずとて其の撤退方を要請し來れり各國大公使は協議の結果政府の引揚を見る迄露都に止る事となれり(露都電報)

▲波艦隊首相を援助

波羅的艦隊はケレンスキー氏を援助すべく誓約したり(露都電報)

○獨逸の和蘭壓迫

獨逸は和蘭に對し石炭の輸出を停止したり其の目的は和蘭をして獨逸の公債に應募せしめんための壓迫手段なりと解すべし(紐育電報)

○駐亞獨海軍武官召喚

亞爾然丁公使館附獨逸海軍武官アルツロセレリー大佐は本國政府より電報を以て召喚せられたり(倫敦電報)

○英國獨紙所報否認

獨逸各新聞が獨逸は英國に對し直接に講和の提議をなしたりと報せるに對し英國は公報を以て之を否認したり(倫敦電報)

○瑞典外務書記官免職

瑞典外務省書記官長エウエルロエフ氏は免職せられたり右は恐らくルクスブルグ事件に關係あるものなるべし(倫敦電報)

○亞國獨公使へ旅券交附

亞爾然丁政府は獨逸代理公使ルクスブルク氏に對する旅券を獨逸公使館に交附したり(紐育電報)

○支那銀禁輸か

北支那も日本及び米國に倣ひて銀の輸出を禁止すべし(東京電報)

○特使歸期

紐育來電=特使石井男一行は十月十三日桑港發春洋丸にて歸國の途に就く事に決定せり(東京電報)

○駐外財務官新任

財務官增設勅令實施に伴ひ十七日左の通り任命ありたり

法學博士 小林丑三郎
任海外駐在財務官(支那駐在)
在紐育大藏省記官 田 昌
任海外駐在財務官(米國駐在)
在倫敦大藏省記官 今村治吉
任海外駐在財務官(露國駐在)

尚ほ英佛には日本銀行監理官森賢吾氏財務官として現に駐在し居れり(東京特電)

○駐外事務官新任

海外駐在財務官の增員と共に左の通り同事務官の任命ありたり(東京特電)

大藏省參事官 太田嘉太郎
任海外駐在事務官(英國駐在)
稅務監督局事務官 松岡由三郎
任海外駐在事務官

○伊國大使參内

信任狀捧呈

十三日着任の本邦駐剳伊太利國特命全權大使公爵コンフアロニエリ氏は十七日午前十時參内　兩陛下に謁見仰付けられ信任狀を捧呈したり(東京特電)

○ゴルドン少將消息

北支那駐在米國軍司令官ゴルドン少將夫妻一行六名は十六日午後七時着列車にて來釜同八時三十分出港關釜連絡船高麗丸にて下關に向ひたるが同一行は來る廿一日長崎より出帆する米國陸軍御用船ローカン號に乘船渡米の上征軍に參加する筈なりと語れり(釜山特電)

○大内代議士木浦行

釜山滯在中の福岡縣選出代議士大内暢三氏は十七日午前十時卅分釜山驛發列車にて木浦に向ひ出發したり(釜山特電)

○足立十八支店長

釜山滯在中の十八銀行京城支店長足立瀧二郎氏は十七日午前十時三十分發列車にて京城へ歸任したり(釜山特電)

○德富氏釜山著

貴族院議員德富猪一郎氏十七日朝内地より關釜連絡船櫻丸にて釜山著午前十時三十分發北行列車にて京城に向ひ出發したり(釜山特電)

▲大邱通過

德富上院議員、同新京日社長の一行は十七日午後一時二十三分大邱驛通過京城に向へり(大邱特電)

○金男爵別府行

男爵金嘉鎭氏は十六日午後七時着列車にて來釜同夜出港連絡船高麗丸にて別府温泉に入湯の爲め赴けり(釜山特電)

○京城高普生渡關

京城高等普通學校職員生徒二十三名は内地見學の爲め十六日午後七時來釜同八時三十分出港關釜連絡船高麗丸にて下の關に向け出發せり(釜山特電)

●總督御禮言上

長谷川總督は十七日午前十時藤波通譯官を昌德宮に遣はし十六日李王殿下よりの御招待に對する御禮を言上せしむる處ありたり

●德壽宮午餐會

既報の如く十七日午後零時三十分より德壽宮李太王殿下には長谷川總督宇佐美長官、古海警務總長以下を德壽宮内石造殿大廣間に招待し李王殿下御東上に就ての勞を謝し長谷川總督より御東上に關し歡談數刻宴を了りたるが當日は李王に陪從して東上したる李堈公殿下を始めとし李王職、閔長官、國分次官及び各事務官及び當時隨行の朝鮮貴族一同を慰勞の爲め陪賓として招待したり

●東拓社債千萬圓

鮮滿兩地間拓殖資金に充つ

東洋拓殖會社に於ては十月一日より營業範圍並に其の金融方面活動能力の擴大に伴ひ事業資金調達の必要あり今春來高瀨理事主として交渉中なりしが最近に至り東京に於て臺銀鮮銀東拓三當局の間に交渉取進み臺鮮兩銀行にて東拓發行社債全部を引受け之を時期を見て内地鮮滿臺各地の兩銀行本支店より一齊に賣出す事に決定し居りしが十六日京城の鮮銀東拓に對し東京より金額條件等に就ての電報到達昨報の如く松平東拓、大田鮮銀兩理事等の協商となり愈々十七日其の詳細を發表せり主要條件左の如し

金額	一千萬圓
利率	年六分
發行價格	九十八圓
利拂期	六月一日及び九月一日
債券額面	百圓、五百圓、千圓無記名式とす但し希望により記名式となすことを得
申込期	九月十八日より二十五日まで
證據金	百圓に付三圓
募入方法	申込の順序による但し不明の時は適宜之れを定む
拂込期	十月二十五日
償還方法	三箇年据置き十年間償還毎年五十萬圓若くば百五十萬圓隨時抽籤にて償還す
申込場所	内地朝鮮滿洲臺灣に於ける鮮銀臺銀各行本支店

▼有利の放資物

大田鮮銀理事談

東拓發行社債一千萬圓の引受賣出しに付鮮銀理事大田三郎氏は曰く

▲東拓社債使途　東拓にて今回發行する社債一千萬圓は臺銀鮮銀にて之れを引受け十八日より内地臺灣朝鮮滿洲各地の兩銀行本支店にて一齊に之れを賣出す事となりたるが其の使途は主として滿鮮兩地に於ける東拓放出の拓殖資金に充てらるゝものに付其の撒布による鮮滿の開拓並に企業は蓋し注目に値するものあるべし

▲利廻り　債券の利廻り如何と云ふに何分三年据置き十年間の隨時抽籤償還にて年々五十萬圓乃至百五十萬圓を償還する事となり居れるに付き其の確的の利廻りは之れを算出するに困難あれど要するに年利六分百圓に付九十八圓の發行なれば之れを最低利廻りに見て六分一厘五毛を下らざる事となり現下の銀行定期預金に比すれば格段に有利にて好放資物と稱するを得べし

▲本債券の特權　本債券の特權としては臺灣朝鮮兩銀行は貸出擔保に取扱かい又他の特種會社銀行の發行に係る債券同樣官廳に對する保證金代用として取扱はるゝやう目下當局に交渉中にて近く其の認可を得べし

▼社債の使途

松平東拓理事談

▲拓殖資金　東拓にて今回發行したる社債一千萬圓は十月一日よりの會社法の改正に伴ない營業範圍擴大し又金融部の活動能力大に多方面となれる結果差向き資金を要するを以てなり而して其の使途は素より鮮滿を主とする拓殖資金に充つべく先づ當初は金融方面の貸出しに多く之れを用ふる事とならん

▲社債の利率　拓殖資金として年六分九十八圓の發行は必ずしも頗る有利と云ふを得ざるやも計り難し唯刻下の財界の實勢乃ち相當利廻り低からざる社債の發行多き今日にて、六分以下を望むは素より離きを求むる事となるべく止むを得ざるべきか

▲二回目の發行　東拓社債の發行は今回にて三回目也乃ち第一回は大正二年春佛國にて二千萬圓を第二回は本年四月大藏省預金部の引受けに係る二百萬圓あり今回の發行を合するも尚ほ社債發行餘力は約六千七八百萬圓あり今後の活動資金調達は市場にして許さんか決して乏しきを憂ふる必要なきなり

●教員試驗決定

小學校及び普通學校教員試驗は十月九日より總督府及び各道廳に於て施行の事となれり其の日時及び受驗者の携帶品等に關する事項は十八日以後の官報に公告の筈なれば受驗者は注意す可し

●水道會議出席者

全國水道會議は九月二十八日より大連に於て開催の筈なるが總督府よりは土木局技師鈴木坂蹤氏の外平南大越技手大邱前原木道技師出席に決せり

▼社債成績如何

十八日より二十五日までに賣出す東拓社債一千萬圓の公募成績如何と云ふに會社法改正後東拓に對する一般の氣受け良好にして期待も頗る大なるものあり既に新社債に對しては有力筋より極めて大口の申込み豫約多く内地滿洲朝鮮を通じ相當應募あるべく或は豫想以上の結果を見るべしと確實筋にて觀測されつゝあり

●鹽澤大佐檢閱

京畿道警務部長鹽澤大佐は十七日午後一時より警視警部等を隨へ光熙門外なる南山商會工場京城府衞生實行部の塵芥燒場及び火葬場を臨檢せり

●近藤所長出發

龍山太陽館滯在中なる東京砲兵工廠技術課長松浦善助少將並に朝鮮兵器製造所長近藤兵三郎中佐の一行は十七日午後九時五十分龍山驛出發平壤に向ふ豫定なりと

●山成理事の訪問

入京中の臺灣銀行理事山成喬六氏は沖田山瀨兩氏を帶同十七日朝鮮銀行を訪ひ大田理事飯泉秘書役等の案内にて行内全部を視察したり

●衞生試驗講習會

警務總監部衞生課にては各道警務部在勤の衞生試驗事務取扱ひ者を召集し十八日より五日間總監部に於て講習會及び事務打合會を開く

●鮮銀の招宴

鮮銀にては十七日午後六時より入京中の山成臺銀理事一行を千代本に招待張宴せしが松平東拓理事高野三井店長も陪席し鮮銀より大田理事外局長秘書役等列席したり

●穀商大會 第三日

十七日午前九時より前日に續いて開會高野省三氏議長席に著き青木農務課長、生田商工課長、伊藤海事課長、吉田朝郵專務、川田同文書課長、木同社參事等臨席す

▲米穀出廻りの調節を其筋に申請する事

▲收穫の際に於ける米粒に土砂の混入を防止し且つ乾燥を十分ならしむる樣其筋に申請する事

▲樞要の地に農事試驗場の設置を其筋へ申請する事

右群山米穀商組合提案を附議するに當り第二項の土砂混入防止云々の件は之を撤回し、出廻り調節の件は可決し、農事試驗場設置の件は具體的に申請の形式を執り難き故希望を陳述する事とせり

▲穀物(玄米を除く)の輸移出稅撤廢を其筋へ請願のこと

は京城穀物商提案の第四案に類するものあり原案の輸移出入稅とあるを輸移出稅云々と修正し京城側提案と併せて請願する事とせり、江景提案に係る

▲一船荷證券に摘要記入に關する件に就ては平富氏より說明をなし、同案は仁川穀物協會の提案と同一の趣旨として附議する事とし

▲穀物無蓋車積に關する件

は前會に沙里院より提出して撤回せも案と同樣にして此問題に對しては鐵道當局に相當の方法を講ぜられむ事を希望する事にして決議を廢する事となれり烏致院鎭南浦提出の

▲内地及び鮮内糧食の重要產地に常設檢查所設置を其筋に申請する事に就ては意見頗出の末、檢查の熟考方を其筋に對して希望する事として原案を撤回せり釜山提出に係る

▲朝鮮郵船會社に阪神迄航路延長を要望すること

の案に對しては『朝鮮各港より阪神行航路開始を要望すること』の修正說出でたるが之に關しては當局の意見を聞く事となり

伊藤海事課長登壇し、朝鮮郵船會社の性質より說いて現今朝鮮郵船に對しても阪神延長を必ず行ふべしと命令するを得ざる理由を示し趣旨としては本案は充分理由あるも實行甚だ困難なる事情あり然し乍ら本年も出穀季に入らば滯貨問題も復た起り來るべく當局に於ても種々苦心調査中にある旨を述べ

荒木朝郵參事　其後を承けて會社も今冬の滯貨を豫想し船繰りの窮屈なる中にも種々工夫をなし居れるが何分自由航路の船舶無きの際斯かる困難を感じつゝあり、浦鹽線に配せる船は船腹比較的大なるが故に先づ二隻を以て本年十一月初旬より來年二月末までに十二萬石乃至十五萬石の内地輸送をなす計畫を立て目下船繰變更の申請中なりと說明し結局本案に對しては當局者に於ても朝郵會社に於ても折角考慮を致し居る際に付之に對して謝意を表する事として議決せざる事とせり右畢りて高野議長は諸般の關係を有する問題なればとて京城提出の協議案

▲適當の時機に於て朝鮮より代表者若干名(少くも京、仁、群、木、釜、鎭より一名つゝ)大阪に出張し同地同業者と非公式に穀物取引に關する打合せをなすこと

を附議せんことを求め問答を重ねたる後大池、奥田、其他の諸氏より贊意を表し議長は『適當の時期』に就いて十月初旬大阪に會合を開く事の希望を述べ出張代表者の顏觸れは後日詮衡し大阪會合の日取りは大阪筋と打合せの上決定する事となり議案を可決せり次に釜山提出の

▲穀物大會の常設事務所を設置する事

を附議し事務所の名稱を如何に決定するやについて意見續出し又共益社の竹中氏等より朝鮮人を組合に加入せしむる事とするや否やについて質問出で意見一致せざるものあり正午一先づ休憩(以下朝刊)

▲追加議案

一、大連其他支那各地取引改善に關する件
(右仁川提出)
一、新たに發布されたる米穀檢査令を機とし全鮮生產穀物の斗入を一定したきこと
一、各道區檢查員範圍を廣くし檢查請求に關する檢査の外凡ての穀物に關し品質改良を目的とする巡回臨時臨檢の實行を其筋に申請すること
一、粳米の檢查上に關し其筋に申請すること
(以上鳥致院提出)
一、内地及び鮮内糧食の重要產地に常設檢查所設置を其筋に申請すること
(右鳥致院鎭南浦提出)
一、朝鮮郵船會社に阪神迄航路延長を要望すること
一、朝鮮花崗岩を日本不開港地に入港許可を其筋に申請のこと
一、朝鮮及び内地に於ける朝鮮穀物取扱者組合の共益を確實にすること
一、穀物大會の常設事務所を設置すること
(右釜山提出)

人事消息

▲今西龍氏(京都帝國大學助教授)十七日朝入京不知火旅館へ
▲德富猪一郎氏(本社監督)十七日午後九時南大門驛著入京

彼れ此れ

○コルニロフ將軍の降伏にして果して眞實なりとすれば、露國の爲に祝福せざるべからざる也。ケレンスキー首相亦、此の際其の襟懷を大にし、新に相共に提携を策せんか、兩雄の自覺は、やがて今日の露國をして、其の危險狀態より脫せしむべき、最良の方法なるべきを憶ふ。

○我江藤南白は、自ら法を制して自ら其の法に斃る。コルニロフ將軍は、死刑復活を主唱して、自ら死刑に處せられんとす。何れも革政の犧牲者也。東西の兩雄、其の末路の相似たる、又た一奇と云ふべし。

○米國加州に、豫言者の女性現はれ、其の的中奇妙にして、羅馬法王の講和提議の如き其の豫言的中したりとて、評判頗る高し。同女の、戰爭終末の豫言に曰く。平和は、宗教の力にては來らず。驚くべき一種の力出現し、人種、宗教の障壁を破壞し、政治、產業、社會上の、利害感情より泡ろ、衝突を調節すべく、然る後始めて、世界に平和來ると。之れ位の處なれば、恐らく何人にても、豫言するに躊躇せざるべし。

交渉談判 北京に移されん

▣琿春事件と我が提議の成行▣

去る十日午後豆滿江沿岸に駐屯する我が慶源守備隊が琿春に向け出動した事は當時既に報道した通りである事の玆に及んだ顚末及び事件の内容其の後の消息を詳報すると左の通りである

去る九日八名の朝鮮人が穩城方面から數百斤の食鹽を間島方面に密輸入する目的を以て

▣豆滿江の對岸に▣

運搬して居る事を發見した在琿春支那巡警は直ちに之れを捕縛し琿春知縣衙門内の監獄に拘禁した翌十日午後に至り我が間島領事館琿春分館はこの事を知り領事館警察署部德山孝輝氏は巡査部長一名巡査二名を從へ琿春知縣衙門を訪ひ犯人として右八名の朝鮮人の引渡を交渉したる處頑冥なる支那巡警は之の交渉に應せざるのみならず多勢を恃みて

▣我が警官に暴行▣

を加へ一行中の巡査部長を捕へ毆打凌辱し我警官が防戰しつゝ退却する跡を追ひ益々附近の巡警を驅り集め其の勢凡そ百七八十名を以て我が領事館分館を包圍し卅餘名の巡警は分館内に闖入し窓硝子其他を破壞し夜に至る迄圍を解かず喧騷事態容易ならざるを以て岩越分館主任は急を慶源守備隊に報じ

▣其の救援を求め▣

たるを以て慶源駐在の歩兵第七十三聯隊第九中隊は直ちに武裝し牟田中隊長之れを指揮し豆滿江を渉り慶源より六里の道を急行し同夜琿春に到著したるが之れより先き琿春知縣は罪を我が領事館に謝し拘禁の朝鮮人を引渡し巡警亦圍みを解いて退去したるを以て我が分館は直に(一)慶源琿春間電話架設(二)琿春に憲兵駐在(三)琿春知縣は領事館に謝罪狀を送る事(四)巡警全部領事館前に整列謝罪する事(五)商埠地内鮮人に對して今後絶對に不干渉を保證する事(六)市場を鮮人に貸與する事等を提議したるが勿論之れは領事館としての交渉にして

▣交渉の成行如何▣

に依り其の交渉談判は北京に移さるゝに至るべし、元來同地方の支那官憲は古來久しき間朝鮮人を侮蔑し來りたる習慣あり且つ我が國威の程も知らざる曖昧の者のみにて斯くの如き事件を發生せしむるに至りたるが知縣の出樣に依つて我外務省は嚴重なる手段に及ぶべく以て東滿洲地方に發展する朝鮮人の安寧を保障し生命財産の保護を爲すべしと

朝鮮僧侶團 桃山御陵參拜

朝鮮商僧金九河師一行十五日夜京都に著、桃山御陵に參拜したり(京都電報)

▲東本願寺訪問

朝鮮商僧金九河氏一行は十七日大阪東本願寺を訪問し法主に面謁したるが法主は一行を枳殼亭に招き茶菓の饗應をなしたるが一行は同本山各名所を巡覽し妙法院、三十三間堂、高臺寺、清水寺等に赴きたり(大阪特電)

宗演老師一行 十八日朝退京せん

支那巡錫の途入京留錫中なる釋宗演老師、大野宗達師、二條厚基氏等の一行は十八日午前九時十分南大門驛發列車にて平壤に赴く可し

早稻田大學 全國評議員會の決議

十六日帝國ホテルにて早稻田大學全國評議員會を開催したる結果七名の委員を選擧し教授團より選擧したる同數の委員と共に局面の解決を計ることに決せり猶ほ京濱在住の實業方面に從事せる校友一千餘名は理事維持員が速かに辭意を飜へし校紀刷新の衝に當る必要ありと認め大學が校風を變更せざらんことを希望する旨決議したり(東京特電)

一發も撃たず立歸り候 北鮮地方の獵期に入つたその日

∴壓卷 は和田ドクトルの雉子五羽 氣畑の上られ京城の天狗連

獵季に入つたその日、思ふがまゝに山野を驅けずり歩いて狩する人の樂しみは前人未踏の無人島へ拙渡つて寶物でも取り出さうとする時のやうなものもあらう、北鮮地方が獵季に入つた十六日の朝、遙々と

▽黄海道へ 出掛て行つた銃獵家は和田ドクトル、和田鐵道局管理課長、田中三越出張所長、篠崎文具店主、黑澤鐵道工場長、澤田總督府第一課長それに此の前の獵友會の射擊會で殊勳を現はした菊池氏に中山氏などがあつた此内

▽一番遠く 行つたのは澤田氏の南川で和田(賤)、黑澤、田中、篠崎の諸氏はいづれも汗浦を獵り、和田(八千穗)、中山、菊池の諸氏は雞井へそれぞれ赴いたのであつた、この日は朝からよく晴れ渡つて絶好の狩獵日和であつたが、午後の三時頃から

▽夕立に會つて宿るに一樹さへ無い野原の眞唯中で濡鼠になつて脚に卷きつけたゲエトルまで濡らした割に遠征者諸君の獲物は尠かつたやうである、和田管理課長の

▽腰の廻りを覗きながら

成績を問へば『親も獲つた子も獲つた雌も雄も撃つたよ、これで何つと思ふ?』曰く『一羽半さ』又曰く『僕は初め畑の中を歩いて見たが些しも出ないので山に登つたのが失敗の基いだつた、マア歸つてから

▽飯が旨い だけでもいゝさ』和田ドクトルや田中、篠崎、澤田の諸氏の何れも不成績で和田氏の雉子五羽を獲つたのが壓卷だらうとの事である、汗浦へ行つた和田氏の言ふところによると野原

▽草が深く 畑には作物があるので、肝腎の雉子は、些しも出ない、子連れの雉が隨分多く、雉子の匂ひは何處へ行つても漲つてゐたが何しろ飛び出して來ない、犬がポイントするので

▽急いで行つて見ると前きへ行つてゐるといふ有樣なので雉に釣られて歩き廻つたのみであつたさうだ、甚だしいのは逃げて行く雉のあとを追ひかけ廻すだけで一發も撃たずに終つた人さへあつた、しかし此の地方は非常に

▽雉が多い さうだ、十六日は殘暑尚ほ去らず山歩きは暑かつたが來る二十三日の秋季皇靈祭頃には餘程樂になるだらうとの事である

故土居氏葬儀

十七日故土居通夫氏の葬儀執行せられたるが官民の葬儀に列する者多數にて大阪に於ける近來の盛儀なりし(大阪特電)

本願寺 内部改革されん

東本願寺内事局改革さるべく下間家從以下辭職すべしとの說あり(大阪特電)

廣島の豪雨

廣島にては十四日夜來豪雨あり十五日兵士一名橋梁と共に流され溺死したり(廣島電報)

長崎縣暴風雨

十五日長崎縣島原にて暴風雨あり全家風の爲め吹飛ばされたる家あり負傷者一名を出せり(長崎電報)

堺市給水開始

水源池涸渇の爲め久しく水攻の厄に遭ひたる堺市にては漸く十六日より給水を開始するに至れり(大阪特電)

死傷五百 厦門の暴風雨

厦門來電に依れば今回厦門に於ける暴風雨は三十年來の事にして大阪商船會社汽船天草丸(二千三百五十六噸)三菱チャーターの獨逸汽船一隻は陸上に打揚げられ慘澹たる光景を呈し家屋大半破壞するに至り厦門にて五百名以上の死傷者を出せりと(大阪特電)

電車事故頻發

十六日午後九時頃京城電氣株式會社の百一號電車が龍山に向け進行中高陽郡金谷の勞働者金文植(四三)が材木を積みたる荷車を挽きて通り蒐り電車に衝突し輕傷を受けたるより共愛堂醫院にて應急手當を受く又同日午後五時半頃櫻井町二丁目崔業童(一二)は總督府醫院行八十一號電車の救助網にぶら下り居るを發見された際飛降りを爲して擦過傷を負へり

人間の皮膚が變色する 廣島縣下府中町の飲料水問題

廣島縣蘆品郡府中町にては同地附近一帶にかけ染料製造事業勃興し年産額二百萬圓に達せるが一方各工場より發生する毒素の爲め地下水を汚穢ならしめ爲に數百戸の飲料井戸何れも水色變じて町民の皮膚の色次第に蒼くなり來れるより昨今漸く大問題たらんとするに至れり(廣島電報)

元公醫憲兵分隊長を誣告す

大分縣西國東郡三重村醫師瀨々鎌郎(三七)及び目下沃川邑内にて雜貨商を營み居れる靜岡縣志太郡燒津町松永雄太郎(二四)元忠北沃川地方金融組合理事群馬縣新田郡木三崎町中江田村柴田丈次郎(三〇)の三名共此の程誣告罪に依り公州地方法院にて鎌郎は懲役六箇月丈次郎、雄太郎各三箇月(二年間執行猶豫)の判決を受けしを不服とし目下京城覆審法院に控訴中なりし瀨々は元沃川憲兵分隊所屬公醫たりしも大正五年一月中監督官の

▲諭旨に依り 辭職の已むなきに至りたるが之れ畢竟沃川憲兵分隊長總督府警視時枝審政氏の上申に依るものなりと思ひ居る内前記松永の實父にして沃川學校組合の管理者なる松永安信が同學校組合に關する犯罪事件にて時枝分隊長に檢擧せられ刑事被告人となりたるより瀨々及び松永の兩名は愈々分隊長を怨むこと甚しく大正五年十月頃瀨々は偶々金融組合事務所に柴田を訪問し時枝分隊長を

▲誣告せん事 の相談を持ち込み居る處へ雄太郎も來合はせ共謀して誣告せんことを決議し原文は瀨々が草案し筆跡を晦ます爲め他人を物色中十一月中大田驛勤務の常田良夫をして次の如き原文を淨寫せしめたり

(一)沃川分隊長時枝審政は部下憲兵補助員金應鎬が所有石山を山田武儀外二名に賣却したるを田中齋松等の依賴にて金應鎬を呼び寄せ山田との右石山賣買を解除せしめ之れを北川の出資にて浦上松本二名に賣り渡さしめたり而して其の賣買契約調印後松本の妻は白魚一箱を時枝中尉方に持參し其の箱の中には現金が入り居りし由あり

(二)時枝審政は憲兵分隊長として有るまじき高利貸しをなすしつゝあり

(三)時枝審政は前任地に於て道路工事ありたる際二人の請負競爭者あり其の際一人に對し賂賄を加へて入札を妨げ一人をして該工事を落札せしめ其者より金時計一個を收賄したり

以上の文書二通を作成し一通は公州地方法院檢事局に他の一通は警務總監部古海警務總監部長宛にて郵送し以て時枝分隊長を誣告したる爲め遂に檢擧されたるなりと

讀者文藝 (一等に五十錢 二等以下に賞品を呈す)

▲物は付『掛けぬものは』

○衞生美人(一等) 渡邊 かの子
▲高い入場券 京城 孔 佐草
▲に寡にもつれた糸 龍山 岡本 小草
▲去年の暦 平壤 内藤 初子

■課題及募集規定は欄外にあり

東京附近豪雨

十七日夜來豪雨にて東京市及び附近一帶出水の虞あり(東京電報)

備後地方暴風被害

備後地方十五日大暴風あり被害多し(大阪特電)

ス氏一行出發

飛行家アート、スミス氏及び母堂通譯の一行三名は十七日群山飛行の爲め十六日夜七時五十分南大門發列車にて出發

拾得品賣却

京城本町警察署にては十九日正午構内に於て拾得物の保管期限濟みの品物を競賣入札に附すべしと

難破船

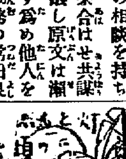
去る六日午前十時頃咸南北靑郡新浦面六臺里沖合一里の海上にて洪原郡景浦面松嶺里を發し新浦港へ航行中の帆船一艘は風波の爲め舵を破損し轉覆し荷物千八十三圓船體三百圓の損害あり船主は定平郡柳面浦德里の金某なりと

白晝の賊

本月六日の白晝咸鏡道安岳鐵山合宿所へ曲者押し入り酒井技師所有の現金五十圓及び金時計(價格百十圓)公債證書額面六百圓在中の手提鞄を盜まれたる由にて目下犯人嚴探中

悲慘なる一家へ

石川彌三郎一家への同情金
▲金一圓 京城無名氏



▲佛蘭西の戰線で墜落した磯部少佐は病院船でミューズ河を溯航中朝鮮に歸つたなど思つたさうな ▲佛國の飛行學校では大抵スミス君のやうな曲乘を教へて敵機を襲ふ時とか敵から遁走する場合に活用する ▲高度は必ず七八百米突か一千米突位ゐで教習中と雖も機體に故障を生じた際とか餘り無鐵砲な操縦の外は滅多に怪我はない ▲龍山練兵場でスミス君の上昇した七千六百呎の高度は普通戰線に於いて用ゐられるものでそれ以上なれば航空機射擊砲からやられる心配なし ▲それに最近では追擊用で五千米突位ゐ一氣に上昇ができる飛行機も出來たといふ ▲銀はまたく騰くなつた、今日の如く五十片以上となれば當五十錢銀貨で七十六錢二厘三毛新貨で五十七錢一厘六毛 ▲朝鮮の國境で支那人の手に持ち去られんとする心配も無理ではない

商況

債券現物特電 十七日川米確 東洋拓殖 七六、〇〇 朝鮮瓦斯 一七、八〇

公債直取引(東京特電) 九五、七〇

深川在米特電 十七日前場 八一、七〇 八〇、七〇 九五、七〇

東京期米特電 十七日前場 一一九、七〇 一五、九〇 八五、一二、四〇

大阪株式 十七日 十五日前場後場 (株名・値段略記)

大阪三品特電 十七日前場

大阪期米特電 十七日前場

下關期米特電 十七日前場

雜報

●銀塊五十一片七十 日大阪發共益社入電倫敦銀塊相場は五十一片に達したりと但し鮮銀は未だ入電なし

●三品引續き不勢 大阪三品本日の前場は別項の如く寄付二百七十圓十錢先限五十圓と止めより更に小安く前大引は一段弱含みと成行きたり

●十六手二百五十五圓 十六手二百十五圓

●綿布龍レ一八圓七十錢 と市況不勢の裡に稍々人氣落付きて見ゆたり

●大豆は低落 忠南地方に於ける夏大豆は其後出廻り増加し落ち東にては三千叺餘推積さるゝに到れるが内地安の影響を受けて氣配更に軟化し最近入電に比べて三十錢安を報じ釜山値十二圓二三十錢處に落ちたり

●原鹽品薄高 支那産地は何れも充分の製作なれど銀高と船腹不足により鮮内輸入は愈々困難を加へ品缺乏し居るなり大連仁川間運賃は噸五圓に近く百斤二圓三十錢の高

値に當る事となり到底不引合故外なきしこれまた減少して今日仁川に於ける在荷は約七百萬斤内外にて昨年同期の五六割なるに過ぎず値も更に新運賃により地方蔘値は一層不振の物となるべきに引き換へ官鹽は未だ契約期間存續中故依然從前通りの低運賃にて供給さるゝが故に割高なる原鹽が之と對抗せむ事は困難なるべく從ら共商販路等に窮餘を生ずるに到らむか

●米國皮革界急變 最近米國皮革界の形勢急轉して此度本國入電は遂日不勢を報ずるに至りしが之が一因は影響多少含まれ居らんか本國皮革界の反落は豫期にして今回米本國皮革界を軟化に導きし最大原因は寧ろ英國に於ける皮革類の輸入禁止にあるものゝ如し而して現下の本國相場は高値より底皮百斤に付二十五圓キット一坪に付二十五錢方暴落せしのみならず從來本邦製造會社は契約保證金援手後ならざれば現品の積出しをなさざりし例なるに今日にては保證金差付の通知さへ到達すれば直ちに積出すべき趣にて且つ頻々電報商談を進め來れり今後の成行きは英國が解禁如何にあるべき

●小麥底强し 買ひに行き支へて以來當に不勢の裡にありしが小麥は其後內地見直せるにより釜山初め各地に堆積品漸々擁出しあり在荷殆ど分配減少しつゝあると產地は最早品乏しく各地出廻り薄なれば次第に硬化せん傾ありたるが早晩之が餘波を受くるに至らんキアドの如きは內地相場既に十錢方低落せりといふ

●入電區々にて砂里院發十圓五六十錢

●滿洲粟と荷透き 鮮內に於ける粟は四圍の事情にせまられ依然不勢の商精にて市場相場區々として定らず一袋八圓より九圓迄に往來しつゝあるが其在荷は漸次減少し八月十日頃鮮內各地滿洲粟在荷約四萬袋と算せられたるに比べて略半數を消化したるが如く今後荷透きに連れて幾分氣直らむと思はれこ新穀出廻りの案じもあり彷々相場低調を呈せるなるべく滿洲產元は依然品薄高にて引合値は百斤六圓以上に當り同地方作柄は未だ詳かならざるも主產地たる南滿一帶を通算すれば約平年作七割方なる推定さる

●染料伸惱み 染料は米國品の輸出禁止及び銀價の暴騰の影響として支那市場よりの輸入杜絶等の材料として人氣頗る强硬なりしと雖も騰貴節合といふ頭還へによつて市場の成行きに之れ迄は氣高の割に伸惱みの姿なるが其內現實に薄勢の向しものはスカレツトローダミン青竹の類なり又既報思惑買占め行はれ洋粉紅の如き市中には今後新安物の散在せる低相場も保合ひ居れり

●鐵材引返へす 鐵材も其に約一割方の反落を示せしが其後人氣再び回復樣にて鐵板は既に約二十圓方引返し又々大阪の高報により此處一兩日中に棒鐵十圓內外の値上りを見るなるらん

●洋釘細物引締む 洋釘市價は鐵價暴騰當時爰して雖今日尚原料相場との採算伴はず安田浄本兩製釘所の如きは之が爲めに挾くより製產を手控へつゝある

●市場在荷の減退と俟つて次第に强く此處大阪高の刺戟を受け當市中相場も二吋以下の細物各種を通じ五十錢方騰貴せり

●亞鉛線低落 亞鉛線は各番一卷に付五十錢方低落せしが手持關係の外格別の原因なし

南大門の廻穀

水原籾 四三叺	水原大豆 三五叺
南川小麥 二三五叺	水原籾 六〇叺
郭山大麥 二二六叺	島山白米 五八叺
東豆川小麥 六一叺	平澤籾 五〇叺
仁川玄米 二一〇叺	天安籾 一九〇叺
元山白米 二〇〇叺	水原白米 二四叺
水原白米 二六叺	水原大豆 二七叺
水原白米 八七叺	水原白米 七六叺

釜山穀物(十六日)

▲正米(保合) 當市場賣り物としては餘り潤澤ならず本邦大阪定期米は又々軟歩調を呈し昨後場止は先二十圓六十一錢との報あり當市場買望人は依然として精米口よりの必需補充買の外他者よりは更に手を集めず本朝は必需口に迫られたる底除き口よりの補充買行はれて前議闘りたれ共相場は保合同準なり

生魚市場

日の丸市場取扱左の如し たい二六、さわら二〇、やす一三、ひらめ一二、かれい一五、はも一四、あなご一四、あじ一五、くろまいび八〇、にべ一〇、もいぼ四五、はうを二八、さより一六、たこ一四、甲いか一三、このしろ一六、小ねび一〇

釜山水產市場(十六日) 昨日今天候回復漁獲增加せし爲め本日は相場下落せり 入船數百十四隻 △メイチ十八圓△大ワカ六圓△アジ十五圓△サワラ十四圓△ヒラメ十圓△サバ十一圓△エビ四十圓△タコ七圓△アナゴ十三圓△ハモ十圓△シビ十圓 水揚高一千五百三十二圓九十三錢

仁川期米

▲十七日前場(保合)

各地前當未著にて當地當一九圓二十錢より一錢引中十八圓九十八錢より八十八錢と押し九十錢引先十七圓三十一錢と一昨止より一錢高に寄付きたる 大阪二節七十四錢と高移りが戻りは賣物多く 天候晴 前節の入電に接したる節六十六錢と安移に保合の裡に散會

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 電話長三六七・三六九

市場零聞

依然保合

展開未だし

仁川米豆取引所 十七日の十一月限

生果市場

株式會社仁川米豆取引所仲買人 全 高田仲買店
●定期米賣買案內 ●前金御注文は紹介を不要候 仁川海岸町三丁目 電話長三八一 電話長一〇〇 電話長一一九

▲期米前途觀 に就き顧問者の意向を聞くに本年の作柄は今更撤び容れるの餘地なし向今後彼岸日和及早冷等に通過し大体に於て樂觀的要素なきにあらざるも大体に直面に惱し居らるゝの場合如何に

時不勢に陷り押目は買方の尚警戒し持ち居たると押し目の中限の下押しに

小幾多の例年の例 買思惑起り 新米の出廻り大 下げの餘地充分

○工兵特別演習

○德富上院議員通過

一等(三名)鈴木福太郎、澁谷良英、舘入一名 二等(十三名)山野鐵三、岡進夫、野間直政、本多正、島川泰之、熊谷勝之、戸田佩治郎、富田政吉

十六日午後九時釜山入港壹岐丸二三等客

▲募集規程 同形の洋紙一枚に

課題募集規定

曇り後晴れ

◎火災保險協定率

火災保險協定率は十六日より實行せ

◎連絡船上陸客

十五日午後九時四十分釜山入港對馬丸一二等客

一二等客 一等（十一名）……池田虎吉、吉谷久納、東鄉はるか……同梅子、英人二名 二等五十名……谷守武、福田秀一、進藤庄、竹内……

三等（百八十二名）……

◎跡始末は何う爲る

白川組と下請負との紛擾顛末

白川組が大田沃川間の鐵道改修工事に從事中下請負者と紛擾を醸すに至つた原因に就ては種々な世評がある元來此の工事を指名入札に掛けられた時一番札で落札したのは白川組であつたが鐵道局の豫算（前に二番札とせしは間違）との差額約四十萬圓で第二番札との差は約十八萬圓餘であつた、夫れさへ

◆既に非常の苦痛で あるべき筈であるのに、白川組には下請と云ふのは岡讓一郎と云ふ者一人よりなかつた、一昨年六月二十二日白川組は愈々落札に決定し七月下旬より工事に着手する事となつたけれども九十餘萬圓に對する工事に要する丈の資金の準備はなかつたのである、それが爲めに斯くの如き大工事に殆んど例のない下請資金持と云つて元來

◆資金を下請負人に 負擔せしめて或期間が過ぎ工事の一部が出來上る毎に鐵道局より下附される金で返濟して行かうと云ふ變則的な遣り方であつたらしい、然るに兎に角にも第一小工區を岡讓一郎氏に第二小工區を釜山の木下組に第三小工區を町田組に下請させて各下請負には夫々其の又下請もあつて工事に着手して相當に工事を進捗したが突然本年一月頃に至り木下組の配下に屬し増若隧道東口を擔當して居た富澤勘助が支拂が出來なくなつた爲めに色々困難が起つて本年の二月頃には木下組が富澤の工事の權利を取り上ぐる樣な破目となつた事もあつた

◆當時は刧々殺氣立 つて沃川憲兵隊から七八名の憲兵を出して警戒した程であつた、又一方岡の下請如何と見るに昨年十一月頃から本年一二月頃までは兎も角十日目位に支拂ひも出來て居たが四月初旬から岡の孫部屋の支拂が出來なくなつたので岡は自ら孫部屋の票の支拂をして居た、是れも三四月と續いたけれども六七月となつた時は日拂ひが三日拂ひとなり五日拂ひとなり十日拂ともなつたのである又木下組は如何と云へば富澤事件後間もなく三月の初旬頃か、九丁里の隧工事の（孫納屋）をして居た、浦上某が死亡した結果浦上の遺族は

◆共同して居た資金 を持ち歸ると主張し木下組の方では今迄の賃金を持ち歸られては我等の遣り繰りが出來ぬとの事で又木下組の方でも紛擾が起り遂に四月下旬になつてより木下組も投げ出す事となつて是れが爲め白川組と木下組との間には隨分騷ぎがあつたのであるが遂に木下組が手を引く事となつて其後は主として岡讓一郎氏が下請を引き受け其中増若大隧道の西口丈けを山西某の名義で武内某が引受けたのであつた、斯くて紛擾を重ね本年の六七月は兎も角無事に事は濟んで來た、其の間の白川組の支拂ひは月に四回三回位となつて來たのであつた

◆八月に入つてから は一圓の支拂もない爲に不平怨嗟の聲も高くなつて來たそこで既報の通り白川友一氏は內地へ逃走したのであるが其の以前既に諸般の覺悟を極めて居たもの丶如く一切の善後策を京城の辯護士岡田榮氏に委託し居るとかで同氏は十五日大田に來り十六日は大田の債權者と會見を重ねて居る筈である、白川組の工事中止によつて蒙る損害は增若鯽川里の日鮮人が約一萬四千圓、大田で二萬五千圓、京城の某銀行三萬圓乃至四萬圓、天日一萬五千圓、白神洋行一萬圓其他大小店八九千圓、下請人二萬五千圓其の他ザット十三四萬圓に達する由であるが、既に本人の白川不在にして辯護士によりて處分せらるゝ曉は推して大勢を知る事が出來るであらう（大田）

◎誘拐强盜 慶南密陽郡下南面大司里居住の金範永は昨年中同面農李介同の妻金福蓮を大邱の遊女屋具參奉なる者へ金五十圓にて娼妓に賣渡し其金子を取りて逃走したるが其後謝罪し福蓮をも大邱より連れ歸りながら再度誘拐し同範永は本年八月十二日馬山峰火谷朴漢賢等と共謀し昌原郡東面居住の朴良哲を馬山新道東方約十町程離れし畑內に誘致し暴行を加へ脅迫して火鉢と現金三圓を强奪し密陽憲兵隊の手に捕へられ檢事局送りとなれり

◎生蕃を爆彈で威嚇す

◆◆臺灣に航空隊を設置せよ◆◆

鮮滿漫遊の途中＝臺南辯護士 片山昴氏談

臺灣辯護士會の代表者として鮮滿漫遊の爲め十五日朝釜山に着し直に京城に向つたが十六日京城を通過せし臺南の辯護士片山昴氏を列車中に訪ひ臺灣の現狀を聽く（釜山）

臺灣現時の狀態は內地經濟界の膨脹せる餘波を受け各種產業を經營すべく計畫を企圖し內地資本家の渡臺する人々近來頗ぶる多きを加へ猶ほ從來經營の各種事業も大に面目を改め產業の發達亦た見るべきもの少なからず殊に臺灣特產の製糖事業の如きは最も顯著なるものなり從來甘蔗耕作は

▲製糖業保護 の主旨の下に耕地及び各製糖會社の買收區域を限定し總督府に於て規定し居たるが歐洲戰亂後外國輸入不可能となりし結果同地製糖の需用額に增加を來し從來の產額にては供給不足を訴ふるより總督府に於て本年より畑地耕作の許可を撤廢し總督府の許可を經て新に甘蔗耕作の地を求めざるを得ざる盛況を呈せり斯かる狀態なるを以て臺灣に於ける製糖業は現在以上の產出增加は多く望むを得ず依つて總督府に於ては近來諸種の技術家を聘し

▲新なる產業 の途を開く可く腐心研究中に在りと聞けり先日米人飛行家スミス氏臺灣に來り各地に於て妙技を演じ非常なる喝采を博したるが間もなく陸軍航空隊は有田隊長引率の下に陸軍飛行機四臺を以て耐熱飛行の試みを爲すべく武田中尉其他の飛行將校渡臺し臺北及び主要地に於て大飛行を爲し

▲蕃界の天上 を飛翔したり同地在留內地人は陸軍飛行は時々墜落の噂を耳にし居り折も折民間飛行家スミスが妙技を示して間もなかりしかば萬一陸軍飛行に不祥事にても出來せば帝國の威信にも關すべしと憂慮し居りしに今度の陸軍飛行は長距離飛行種目共に良好なる成績を以て終了し殊に生蕃に對する威嚇の功果は頗ぶる大にして順逆今日迄指顧を肯ぜざりし生蕃も飛行機を眺めて驚異し日本人は怪鳥を放ちて我等を撃殺するものなりと推すれば最早

▲歸順を申出 つるものあるに至れり總督府に於ては彼等に對し飛行機は怪鳥にあらず斯くの如く內地人が搭乘し飛揚するものなりと說明を與へしに愈よ彼等は恐怖し自分等の蕃界に爆彈を投下せらるゝことなくんば如何なる命令をも遵守すべきを誓ふべしと申出でりと、陸軍飛行機の耐熱試乘は意想外に

▲多大の功果 を收めたりと云ふべし就ては在臺灣の官民は此際同地に飛行機二三臺を常置し時々蕃界を飛行せらるゝに於ては從來の如き多數の犧牲者と巨額の討蕃費を要せず其功績顯著なる可きを以て臺灣航空隊の設置を只管希望し居れり

◎仁川港外の蝦夷漁業

風を孕む幾百の帆影　漁獲物は支那へ輸出

最近黃海道沿岸を視察し來りし某氏の談に依れば

▽△仁川港外 なる江華島の西端及び黃海道延安の沖ではバッシヤンと言ふ蝦夷漁業が盛んに行はれてゐるが其の漁法は船首に大きな網をつけた朝鮮船が百艘以上も揃つて單橫列を作り順風に帆を孕ませ乍ら

▽△蝦夷の大群 を追ひ廻るのである吾々が此の漁業を見物せんとて船を艤ぎ出した日は恰も纖翳無き快晴で風はやゝ强かつた爲め蝦夷漁には此上もない好天氣であつた船は二間乃至五間位づゝの間隔を取つて五六町もある

▽△長い橫列 を作り一齊に帆を上げて風を追ふて進む程に瞬く間に蝦夷は網に滿ちる滿ちた時は直ちに引揚げて親船に渡し更らに帆を擧げて進むと言ふ光景で遠くから眺めて居ると

▽△奇觀を呈 する漁獲物は直ちに鹽漬けにして滿洲及び山東省平安南道等に輸移出するのであるが其額は莫大な者であらうと思ふ

＝渚の砂＝

■肺へ呑み込む 新潟縣千手町廣瀬虎夫の二男光夫（三つ）は西瓜の種を肺臟に呑み込むだのが原因で病み出した

■變な怪我 岩手縣九戶郡長內村本藤熊太郎妻はつ（二六）は木の株に倒れかゝつて變な所に大怪我をして悶死した

■自業自得 鹿兒島縣姶良郡湧水村田畑熊太郎（二二）は外四名と共に米國密航を企て橫濱出帆の加奈陀丸に潜伏中檢疫船に發見されて窒息した

■家庭の罪 長崎市常盤町松尾繁雄（一六）は義母に虐められし上保險金を取る爲め父がわが家に放火したので家出して遂に盜賊を働くやうになつた

■闘魚發見 鹿兒島高等農林學校教授瀬井夢吉氏は大島で神經症の闘魚を見附け出して持ち歸つたが島民は之れを賭博にも使つてゐると

■同性の愛 東京本所松倉町石川きよ（一六）太平町齋藤ちよ（一九）の二人は同性の愛に陷り九月五日向島小梅の地先で情死を遂げた

■嫉妬の刄 高知縣幡多郡中村町永井愛吉（四六）の妻すが（四六）は九月五日嫉妬の餘り妾松岡すは（二九）を短刀で斬りつけた

■稀代の大鰻 宮崎縣南那珂郡飫肥町野邊辰之助外數名が市來川で釣上げた鰻は水中から引き出す時三人掛りで辛つと捕へたが長さが四尺胴の廻りが一尺六寸重量四貫目あつたと

■三度開花す 岩手縣盛岡市穀町吉田角兵衞方の藤は昨年花が二度咲いたが本年三度咲いたので主人公は家運の瑞祥だと喜んでゐる

■不良少女 大阪北區上福島三丁目衛端玉枝（一六）は牧岡劇前のビヤホールの給仕女として奉公中店の金八十餘圓を持逃げし情夫と共に活動見物に消費して捕へられた

■一家三名燒死 東京府下中野町穂積藤太郎妻平（六〇）方で火災の爲め長男三郎（一〇）長女よね（七つ）の父子三名は燒死した

■危險な玩具 茨城縣新治郡石岡町西井藤五郎娘あい（五つ）は玩具ホヲヅキを咽喉にひつ掛けて窒息絶命した

◎僞刑事 全北全州居住崔某は光州北村樓主人なる李某を尋ねて來光し樓門里酒幕へ宿泊中突然光州署刑事金元俊と名稱る男入り來り身體檢查の末崔某の所持金七十錢を取上げ之は贓金と認め押收し行くと其まゝ立去りたるが崔某は一向合點ゆかず此由を北村樓主人に話したるより北村の主人は直ちに金刑事に問合せたる結果僞者の刑事にて前科三犯を有する金永俊の所爲と判明し目下取調中なりと（光州）

◎未熟な果物を小兒に與へるな

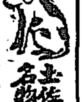
▲初秋になると、子供は俗に秋渴きといつて盛んに飲食物を攝る傾きがあるが、之は生理自然の必要から來るのであるから、其儘に任せておいてもよいが、家庭の親達は相當の注意をしてやらねば消化器を害ふやうになる場合が少くない

▲殊に烈しい秋の日に照されて、喉が渴く場合には、濫りに水を飲み果物を食ふなどは、何れも胃腸を害する基になる、秋は夏の土用よりも却て赤痢、疫痢、大腸加答兒等の罹病が多い、例へば果物でも店に永く曝されたもの、未熟な果物を人工的に熟ませたもの、或は立切りにした西瓜や枝豆の煮たものなどは、何れも消化不良を誘發するものである、

▲疫痢は一に颶風病と稱され、赤痢より一層烈しいもので、三十六時間位にして斃れる、赤痢は疫痢ほど激烈なものではないが、何れも危險な傳染病であるから、斯ういふ兆候が見われたら、直ぐ醫者に診察して貰ふのが安全である、そして子供の時分は飲食の要求の激しい時であるから、其の病氣も死亡の割合も消化器に屬するものが多い（某醫學士談）

◎兩券温習會盛況 京城券番の乙女會中券番の菊花會の藝妓温習會は十五日十六日の兩日壽座に於いて開催したるが兩券番聯合せる事とて人氣引立ち兩夜共盛況にて成功を收めたり

◎理髮營業講話 京城居住內地人理髮營業者は十七日午前十時より本町警察署構內に參集し入京中なる東京理髮會の木村技師より一場の講話ありたり



土佐名物 犬相撲

釜山に於ける三日目闘犬相撲の勝負

勝　負

○三笠山（登揚げ）●玉の井
○男山（逃出し）●金の龍
預橫車（同）預初櫻
預玉森（鼻血）預玉花
○綠川 ●金の勇
●鏡玉勇（同）●太刀駒
○玉山（同）●勇山
○鬼鬮（耳血）●土州
二ケ所 梅川

▲一日日延べ十七日限り當地打揚大邱に向ふ

今日の料理 台所

▲ちり豆腐 ちりに使ひます魚は鯛、ホウボウ、鱈、河豚、鮟鱇、鯛などが宜敷いものです、先づ魚を切身にし鍋に入れ水を加へて煮ます魚が煮えましたら奴に切つた豆腐を入れ附け合せの藥味として葱、三葉、ホウレン草などの內適宜に撮んで入れ豆腐の浮き上つたのを度合として網杓子ですくひ別に醬油と橙（或は普通の酢）を入れた小皿に入れ熱い內に食べます。すくひ上げる時には魚を半分程殘して置いて其後へ豆腐を入れて行けば何回でも出來ます之は鍋燒の樣に鍋のぐるりに集つて取つては食べるものとしてあり

料理屋遊びが止んだと　板垣伯爵夫人語る

「女は小兒の教育と、料理と、裁縫とが上手であれば其れで充分である」と、よく昔は言はれますが實際料理は、女に最も必要の資格で、之れに精通して、日々の食卓を賑はす事は、家庭和樂の秘訣であります、一家團欒の樂、殊に人生に樂しいものはありますまい。世の中が忙しくなつて來るに從つて、この團欒の機會も益々少くなつて來ますが、私は家人が一日の激しい務を終つて一家揃うて夕飯の食卓に向ふ時が、一家團欒の樂みに耽るには最も良い機會と思ひます。此の機會に若し食卓に趣味が無かつたなら、折角の機會も無趣味不滿足の間に過ぎ去つて終うのであります、然らば如何にせば食卓に最も趣味多からしむることが出來るかと申すに主婦に料理の智識があつて、其の日〳〵の食卓に變化を與へて賑す樣にしたなら必ず趣味が多くなつて來ると信じます。

主人が常に家を外にして料理屋遊びをする家庭で、主婦は種々に思ひ惱んだ揚句ふと思ひついたのは料理であります。而して熱心に習ひ覺えて日々品を變へて食卓に趣味あらしめ、夫をして家庭の味を充分に覺らしめた結果、夫の料理屋遊びは其れ以來フッツリ止んだと云ふ實例は、私の知つて居る所であります。

料理は一面に家內和睦の秘訣であります、然しながら料理研究と申せば、直に贅澤であるとか、金がかゝるとか云はれますが、料理研究と云つた所で、別に高價な料理や贅澤な獻立を研究する必要はありません。料理とは家族で召し上がる日々三度の食事を調理する事を云ふのであつて、從來用ひて居つた材料を以て、如何に調理すれば美味しく食べられるか、如何にせば經濟的に料理されるか、如何に料理せば最も營養價值が多くなるかを研究すれば、料理研究の目的は達せられるのであります。故に料理を研究すれば、不經濟どころか、日々の食事が經濟的になり、然も美味にして、滋養分が多く攝取する事が出來るのであります。昔は上流婦人になる程、自ら料理などする事を耻ぢると云ふ風がありましたが今は新時代の婦人は是非料理を研究して、家の和樂をはかると共に、日々の食事を經濟的ならしめ一家族に美味な滋養ある食事を供して、充分の活動をなし得る樣に心がけて欲しいのであります。

料理研究の好伴侶

料理研究が家庭の主婦に必要な事は別項板垣伯爵夫人の談話の如くでありますが、偖て料理を研究して見やうとした所で、如何にせば最も早く其の目的が達せられるかと云ふ事になると、何人もお迷ひになる事と思ひます。東京割烹講習會は、板垣伯爵夫人が、我が國の家庭の主婦に料理を研究せしめんとして設立されたものであります。然しながらお忙しい家庭の婦人方が料理學校に通學する事などは、事情許す可らざるものがありますから、本會は家庭婦人がお宅に居ながら料理研究が出來る樣に、毎月講義錄を發行して料理研究の便宜を開いて居ります。其の講義錄は在來の通信教授など、異なつて、本會には附屬の料理學校があつて、斯道の專門大家が日々季節に合つた料理を實地に教授したものを載せて、總振假名の平易な文章で、何人にも判り易い樣にしてありますから、此の講義錄を讀めば、日々學校に通つて實地に教授を受けたと同じ事になります、而して講義錄の內容はあらゆる日本料理、西洋料理、支那料理、和洋菓子の製法、家庭酒物法、食品に關する研究事項、野菜の栽培法、料理に關する一切を網羅するのみならず、又附屬禮節研究會の研究になる婦人の是非知らなくてはならぬ禮儀作法を悉く解說圖を入れて、手を取る樣にして毎月講義錄を送り、益ある講義錄をお取りなさらんとする手續は至極簡便で、ハガキに講義錄送れと書いて申込めば、直に會員として毎月講義錄を送り、會費は毎月其地の郵便局から集めに參りますから何の手數もありません。會費は一ヶ月三十五錢、半ヶ年一圓九十五錢、一ヶ年三圓六十錢であります。會員は講義錄の配附を受くるのみならず、質問が自由に出來ます。而して六ケ月會員となつて居れば修業證書を與へ、一ヶ年會員となつて居れば卒業證書を與へます。目下會員募集中で、此の際入會の方のは種々の特典があり、又半ヶ年會費前納の方へは「家庭寶典」を呈し、一ヶ年會費全納の方へは「婦女通鑑」及び記念メタルを呈します。尙ほ內容見本御入用の方へは無料で御送りしますから、遠慮なく

東京本郷元町一の三

東京割烹講習會

へ申し込んで下さい。本會は振替口座東京一九四一〇番、電話下谷五六九二番であります

東京割烹講習會々長 板垣伯爵夫人

舶來代理部が幾多萬年筆中より特に選擇せる堅牢無比眞に理想的なる
◎大日本政府登錄 米國製正十四金「イリジューム」付ペン（責任保險付）
完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕
京城旭町二の六 東京パイン萬年筆出張所
發賣元 京城太平通一丁目 京城日報代理部 振替京城三〇〇番
東到所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

桑港萬國博覽會金牌受領
賜李王殿下御台覽之榮
三河は從來德川家康と三河煙火を以て全國に有名なり
世界唯一 大仕掛 三河煙火大會
延長數百尺にわたり千變萬化極りなき大々的仕掛煙火數組
其他特有金魚、銀魚、紅葉、亂玉煙火數千發
會期 仁川 九月十九日 後七時 京城同 九月二十二日 同二十四日
會場 仁川花町埋立地 京城訓練院
入場料 特等 八十錢 普通 三十錢
主催 愛知縣煙火獎勵會 後援 愛知縣人會

娘大內儀病氣の處養生相不叶本日午後九時半死去候間生前辱知諸彦に謹告候也
追而葬儀は明十八日午後五時自宅出棺若草町西本願寺に於て相營申候
稻葉司馬太

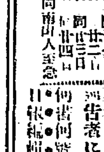
五女和子儀永々病氣療養中の處養生不相叶本日午前一時死去致候に付此段御通知申上候 拜具
追而葬式の儀は明十八日午後四時自宅出棺永樂町西本願寺に於て相營候
大正六年九月十七日
父 高木萬壽太

最新發明 平麥製粉機
◎麥は胃腸脚氣病に特効あり
◎製粉は完全運轉は輕快なり
齒車の取替により一時間の良斗二升
▲平麥▲煎餅團子粉、製藥、染料其他ノ製粉用に適す（動力用あり）
定價金五圓 說明書進呈

機械製作 東京下谷西町一 小平合名會社 振替東京一八七四〇

期米 曾我商店 大阪堂島米穀取引所仲買人

左記の當行振出送金小切手取組人より紛失の旨屆出有之候に付該小切手に關係有之候へは來る九月廿八日期限迄に當行へ異議の申出有之度若し何等の申出無之に於ては右小切手に付當行は一切其責に任せずして無効と致候也
一 第二號 A〇三〇五〇 一 金額壹百圓也 受取人 林永文
一 振出年月日 大正六年八月拾七日 支拂 京城貨鐵工銀行忠州支店
一 取組人 朝鮮紙物商組合
大正六年九月拾五日 京城南大門通壹丁目拾四番地 株式會社漢城銀行



左甚五郎

第三十席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

世話人の仙藏が政右衛門の宅へ來て　藤「姐さん今日は　女「オヤお出なさい　藤「棟梁は病氣だと云ふが何うしたね　女「惡い風を引いたと見えて頭が痛むと云つて寢て居ますよ　藤「そいつは可けねえ、何にしろ明日の建前のことに就て是非出向いて貰はなければならないので、棟梁に鳥渡會いたいから」と藤藏は政右衛門の病室へ來て　藤「何うしました棟梁　政「惡い風を引いたものと見えて甚く頭が痛んで困る　吉「辨天堂の建前のは氣の毒ではあるが、お前も毎度お宮へ遊びに行つて神主樣や世話人の旦那もお馴染だから全然知らねえ處ぢやア無し、建前のことだから行つてくんねえ　甚「宜うござんす。枯木も山の賑かし何の役にも立ねえが頭達の威勢の宜い處でも見て來ませう　政「然うしてくんねえ、お前が行つてくれると俺も自宅に居ても安心だ　甚「エー宜うござんす、じやア世話役明日一緒に行きませう　藤「然うは愈よ明日となりましたが、平常と違ふから何うか行つてくんなさらないか　政「實は藤藏俺も何事を置いても行きてえと思つたが此の分じや迚も行くことが出來ねえ、何うぞ明日の處はお前に萬事宜い樣に頼む、講中の世話人や神主樣にも話をして置たが、少でも快なりやア直に出向くからお前から頭達にも其の理由を云つて宜しく云つて置いてくんねえ　藤「病氣ぢや仕方が無ねが何にしろ困つたことが出來た　政「俺の代りに甚五郎でも遣らう」と傍に居る甚五郎に對ひ　政「お前一ツ明日の建前に俺に代つて行つてくれめえか　甚「そいつは棟梁何うせ遊んで居るんだから行つても宜いけれど、何の役にも立ねえから　政「平常仕事にかゝつて居ねえのに建前に行つてくれろといふのは氣の毒ではあるが…

…してお（く）んなさりやア俺も助かります」と其日は歸つたが、翌日藤藏が出掛けて參り甚五郎を伴れて本所一ツ目の辨天の地内へ入つて來ると、今日は建前といふので撒餅をする、錢を撒くといふ評判で地内は賑か其處へ頭達が皆な出掛けて來た、御承知の通り氣遣りといふものは何時聞いても宜いもので、棟梁の方から頭衆の方へ渡してさア建前といふことになるまでは世話役の心配は何の位だか判らない、甚五郎は皆々に挨拶をして下小屋へ來て煙草を喫で休で居ると、世話役藤藏は頭衆へ渡すに就て尺杖を持つて奔走をして居る、もう終には勞れたものと見えて顏の色を變へて居ります故、甚五郎此の樣子を見て、厄介なことになつたと只默つて煙草を喫で見て居りましたが藤藏は下小屋へ來て吐息をして考へて居る　甚「世話役、仕事の間違つたのを一人で苦勞をしたつて仕樣が無ねえ、何とか工夫をして建前にしてしまつたら何うだ、跡で何うでもなるじやねえか　藤「甚五郎さん實に弱つてしまつた、今日は建前にならねえから神主樣にも申し譯が無し頭達にも外聞が惡くつて顏向けが出來ねえ」と世話役藤藏は茫然として居ります。能く云ふ通り職人衆の仕事は實に怖い、一ツ間違ふと仕事のことでは壽命を縮める然うでございます、大工なら大工だけのことで濟ない、頭衆にも空を履せる樣なことでは濟ず、それが爲に藤藏も茫然として尺杖を持つて考へて居ると、甚五郎が何んとかして建前にしたら宜からうと云ふ　藤「甚五郎さん、お前が然ういふが何うしても建前にはならねえ　甚「だつて虞梁の穴が五寸縮つたのではないか」と圖星を指れて藤藏も驚いた

外科一般　皮膚科　花柳病科　泌尿器科

院長　安部修三

京城永樂町二丁目金光教會隣

安部醫院

電話四一九番

九月十九日九星
舊八月四日甲子
本命六白　乾　平　大安

▲六白● 慾の爲に卿たつて新事見合南方… ▲七赤● 大黑有日轉居開業入門名… ▲八白● 緊張… [illegible]

本年流行　丸髷新形賣出

なふわ形

大阪東區南久寶寺町貳丁目
發賣元　中川武之助
全國到る所の小間物店にあり

御旅行用　輕便無比　鞄
用途に依り御用ひ下さい
定價表御送附

東京市芝區伏見町
製造　内田靴鞄問屋

口演藝案内

有樂館

東京小林商會活動寫眞常設館　電話（階上）五九七番
▲日曜、祭日、晝夜二回開館
△新派悲劇「迷の夢」全四卷
△活劇「救ひ」
[illegible]

黄金館

電話二三六三七・二六六
△九月十五日全部差替
△文藝大活劇「佐野鹿十郎」全四卷
△新派連鎖悲劇「村田正雄…」
[illegible]

壽館

京城本町　電話一〇五〇
△大阪扇友會理事新講談神田伯道氏
△露探西脇大尉
△星亭學の辯護
△壯士之鐵腸
午後七時より開演
入場料　特等…

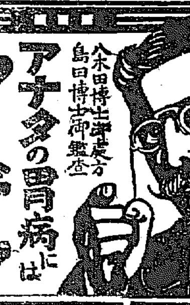
大正館

櫻井町　電話八七三
△新派悲劇「迷の夢」全四卷
[illegible]

產婆並に看護婦生徒募集

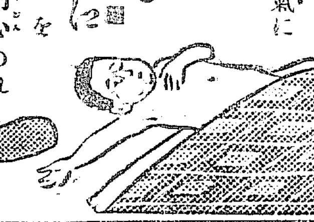
入學十月一日（四月）●規定書郵券二錢
長崎市私立長崎產婆學校

強胃消化錠



アナタの胃病にはマーゲン
八木田博士處方　島田博士御鑑查
＝本劑の特色＝
大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房

朝夕の冷氣に　ねびえに



御用心あれ
小兒・解熱　コドモのねびえには　新藥オインに限る
定價十錢・二十錢・三十錢
大人のねびえ又はかぜねつには　アンチピリン丸をスグ服用あれ　確に効あり
定價十錢・廿五錢・五十錢・全國各藥店に有り
本舗　東京京橋區　丹平商會藥房

下痢腹痛にはヘルプ

完全哺育料　母乳代用

象印　キノミール

キノミールは證成分構成上必要なる營養素を最も消化し易き狀態に包含せるもので乳兒營養品中の第一として兒科諸大家の推賞せらるゝ哺育品であります。

乳兒の骨格、筋肉、血液、神經等諸組織の各部を完全に發育せしめんには是等に要する各營養素を完全に含有する食餌を與へる事が必要であります特に秋冷季節に種々故障を生じた場合の如き不完全且腐敗し易き食餌は絕對に避けねばなりません此要求を充たすべく最近發明せられた營養品が
乳代用完全哺育料　キノミールであります。

下痢止營養品　ガラクトサン

乳兒の下痢症狀は最も恐るべきもので若し其手當を誤まる時は取返しの付かぬ危險を來す事がありますが乳兒下痢止の理想的療法として最近兒科諸家の爭ふて賞用せらるゝものは……「ガラクトサン」であります「ガラクトサン」は乳兒が下痢を起した場合に乳に混和して與ふる時は其包有成分の作用によつて速かに腸壁を回復し下痢症狀を治癒し且つ牛乳成分を消化し易くして調節ふる効能を奏しますの迅速な取らせしむるの特能を備へて居るのであります…

上記の品は何れの地でも有名な食料品店にて販賣して居ります
詳細の說明書　和光堂で呈進いたします

和光堂

本店　東京市神田區錦町
支店　大阪市堀三丁目

金指輪進呈　懸賞字探し

第二回業務擴張大發展の記念として左記問題正解者に「ノート形寫指輪」美術彫刻賞品を抽籤にて五百名限り進呈す

問題　一此の廣告中の逆文字は何字か

規定　解答はハガキに限る　一切九月卅日限り十月上旬發表

東京市淺草區代地河岸町二八
青文堂書房懸賞係

鑛區買入

各鑛種許可權共買入申候
新發見も御相談に應じ申候
京城旭町一丁目電話九五五
三友鑛業事務所
賣買仲介　白上商店

質

黄金町二丁目長橋町
電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

生活の上に

衞生は一日も缺かされない世の中になつた。

品質本位

花王石鹼

が

帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院、慈惠病院、鐵道院等を初め一般社會の日需品となつたのは、全く化粧衞生に最も有効な廉價の良品なるが故に。

京城日報
第三種郵便物認可
九月十八日（夕刊ど合せて八頁）
京城太平通一丁目　發行所 合資 京城日報社

座右銘（通俗講演會に於ける講演）

釋宗演

座右銘

一、早起夜更衣靜座一炷香
一、既著衣帶必禮神佛
一、眠不過時食不至飽
一、接客如獨處獨處如接客
一、尋常不苟言言則必行
一、臨機勿讓當事再思
一、勿妄想過去遠慮將來
一、負丈夫之氣抱小兒之心
一、就寢如棺離寢如脫履

（三）

第一は早起である。お互は毎日バタ〳〵やつて忙しく暮して居りますが、納は老境に入つた故か、早起と云ふことは、さまで辛くなくなつた。若い時は早起は出來ないものだが、社會國家の爲に偉い仕事を成し遂げた人々の有樣を稽へて見ると早起と云ふ事は、確かに其等の事業を成し遂げた一つの要素である。今では何事も心なき人は、善惡を選ばず外國の風を輸入し、之を模倣すると云ふ有樣で、遂には朝寢と云ふ、甚だ厭ふべき傾があつて、書生の間にまでも、さう云ふ樣な事を殊更に見習ふ輩が以前は隨分あつた樣に思ふ。

夙に起きると云ふ事は、言はゞ一日の之が初めなんである。古語に一年の計は一月にあり、一月の計は一日にありと申すが、詮じ詰めれば一日の計は必ず一朝にある。もう一つ其の奧もあるが其れは言はぬ方が宜からう。一年の間に或る仕事を立派に仕上げると、仕上げざるとは、實に最初の出發點の如何に在るのぢやが、其れは一寸の機會からで、其の機會を捉へるも逃がすも亦一寸の違ひからである。千里の道を行くにも必ず一歩から初まる。物の出來ると否とは、僅の違ひなんである。滴水も集まり寬まりては軈て河と成り湖と成り、大海と成りて滔天の勢を成すと云ふ有樣、恁んな事は別に言はいでも判り切つた事ぢやが大に味ふ必要があらうと思ふ。人間の一生は一日〳〵を段々と繼續して行くものであるから、去年あり、今年あり、明年あり、昨日あり、今日あり、明日ありと云ふ次第ぢやが、能く考へて見れば、昨日も今日、明日も今日、明後日も今日、去年も今日今年も今日又た其來る年も來る年も今日である。一日は必ずしも廿四時間と云ふ時間に限られたものでは無いずつと今日〳〵を積重ねて行くが人間の一生、そこで古人の所謂『死して後止む』と云ふ所に到達する譯ぢやが、其所になると筆持つ人なれば、筆持つた儘瞑目して夫れで澤山である。又鐵砲持つ人なれば、鐵砲持つた儘踏んで死んで了つたら、其れで些かも遺憾無しぢや。算盤彈く人なれば算盤彈いて居るなり息引きとつても、其れが本願であらうと思ふ。所が、せめて、死ぬ時許りは座禪でも組んだ儘確つかり口でも喋んで立派な死に樣を爲て見たいと云ふ樣に考へて居る者もある。滿更惡い考へではないが甚だ迂濶な考と申さねばならん所詮人間と云ふものは已が職分と共に斃れたら夫れで立派なものぢや。今の若い身空を以て死ぬ時を考へて居る樣な道は有たぬ筈である。朝から晩まで孜々矻々として、奮鬪し努力し、向上して已まぬ精神を有つて居るならば、便所で力んで居りながら、其の儘息引きとつても遺憾無しぢや……汚いことを申して濟みませんが（笑聲）言葉と云ふものは、勢ひ考へて居る道が無いものだから、それに從つて妙な方にも走つて了うものぢやで、御免を蒙むる。……或は又一種の病氣に取附かれ、七顛八倒、逆さ立ちに成つて死だとて別に遺憾無し。一向の信念と云ふは其所に在る。兎に角五十年でも百年でも幾千萬年でも、考へて見れば一日、昨日だの昨年だのと色々過去がある樣だが皆今日で無始無終である、我が宗教の立場から言ふと、元來生だの死だのと云ふ事は無いので、死と生とは夜と晝だ。死と生は、過去に遡つて考へても又未來に向つて考へて見ても所謂生死一如なんである。少し理屈めいて來た樣ぢやが、畢竟理屈を言ふ必要も無い。生即ち死、死即ち生である。恁う論ずると生死論に及ばなければなりませんから廢しますが、何處で何を爲ながら死なうが我が職分に終始し得たなれば、他人は何んだあの狀がと嘲笑はうとも、己れに於ては何の遺憾も無しであらうと思ふ。

そこで斯かる心掛を有つのにはどうしても朝早く起きて充分に之を考へる必要があらうと思ふ。所が夙起は却々難いもので、殊に寒い時には、目覺めても枕を蹴つて起ると云ふは隨分困難である。けれども物事に成功しやうと云ふ人ならば、必ず之を實行して渝らない。今更家康公を紹介するにも及ばないが、家康公の言葉は實に通俗であるが意味は深長で能く實行を奬めて居る。

露國內の騒亂

▲コ將軍叛逆顛末

米國聯合通信社露都特派員報道

米國聯合通信社露都特派員發九月十四日付の報道に曰く、モヒレヴに於けるコルニロフ將軍の本部より露都に來れる一將校は今回勃發せる謀叛に就きて下の如く語り▲其の談に據れば九月九日コルニロフ將軍は若干の選拔聯隊を召集し之に對してリガ戰線に增援する爲め召集したる旨を告げたるが▲其の眞の目的地は露都にありしなり。其の夜コルニロフ將軍は其の宣言書を作成せしが其の起稿成るや社會黨印刷職工は其の印刷を拒み而かも此の宣言書の所在行衞不明となりたり是れが爲め▲一將校は印刷工に對して若し將軍の命に服せざれば立所に斬殺すべしと威嚇したり、然るに該印刷職工は其の後ケレンスキー氏の宣言書を受取りたるを以て▲密に秘藏しゐたるコルニロフ將軍の宣言書と共に右ケレンスキー氏の宣言書を秘密に印刷せり是に於て勞兵會の地方勞兵會委員會は反政府大陸中に猛烈なる煽動を起さしめんとケレンスキー氏の宣言書を軍隊輸送中の列車內に撒布したるを以て軍隊內に軋轢を惹起しセントジェオルゲの騎兵聯隊の如きは臨時政府の爲身命を捧げんことを宣言するに至れりと而して又たモヒロヴより來れる他の一將校は語りて曰『各聯隊は表面上英國式爆彈投下法を研究する爲めモヒロヴに召集せられたるものなるが之等の聯隊は同地に落するや露都に於ける過激派は中產階級の虐殺と單獨講和を企圖しつゝありと告げられたるが斯くて彼等は露都へ進擊の途中莫斯科に到著したる時始めてケレンスキー氏の宣言書を手にしたるを以て事情初めて判明するに至れり』と以上の物語は其後の狀景を鑿さゞれどケレンスキー氏の宣言書が兵士に對して或る結果を齎らしたることを明白に語れる者也（紐育電報）

▲ケ首相暗殺說無根

ケレンスキー首相が暗殺せられたりとの報道は全然無根にして同首相は今や極力刻下の難局を拯ふべく努力しつゝあり（露都電報）

▲聯立內閣組織頓挫

十三日ケレンスキー氏を總理としテレスチエンコ氏を副總理兼外務とすべき社會黨、立憲民主黨、商工業者の聯立內閣組織略ぼ定りたるも勞兵會殊に社會革命黨側より立憲民主黨及び商工業者の入閣に反對說出で一頓挫を來せり（露都電報）

▲三將軍の助力を得て

ケレンスキー首相はアレキシーフ、ルスキー、ドラゴヒロフ三將軍の助力を得て刻下の難局を保持しつゝあり（露都電報）

鮮銀東拓と臺銀の提携（上）

朝鮮將來の發展は刮目に値す

臺灣銀行理事 山成喬六氏談

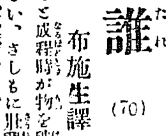
入京中の山成臺銀理事は曰く

▲日支爲替銀行　予等一行の旅行目的は中部支那並に南支那各地に於ける臺灣銀行支店と爲替其他に密接の關係ある滿洲及び北支那の狀況視察並に朝鮮銀行東洋拓殖會社正金銀行等所謂殖民的に活動されてゐる各銀行會社の營業狀態を見せて頂く爲であるが大連から或は青島に渡り上海方面に南下するかも知れず北京行きは今の所判然せぬが、例の日支爲替銀行は世間で云ふ程重大なものではない、予が假りに北京に入つても用向は別だから此の問題には觸れぬであらう、序でに此の爲替銀行は隨分古くから……陸宗輿氏が渡日した時より傳へられてゐる問題で何れは出來るだらうが北京電報の傳へるやうに今すぐと云ふ譯には行かないと見るのが妥當である

▲東拓の新社債　今回東拓で千萬圓を發行さるゝ事となり、其事業の擴張資金に充つべき社債一千萬圓を發行さるゝ事となり、臺灣銀行は鮮銀と共に之れを引受け一般市場に賣出す事となつた、如斯資金が鮮滿の開發に寄與する所多きは多言を要しない、利率の年六分と云ふのは鳥渡安くないやうにも思へるが今日の金融市場より見れば六分以下では募れない、又た勸業銀行でも興業銀行でも曾て年七分の債券並に社債を公募した事がある、其の點より見れば鮮滿の拓殖資金を六分で發行する事は決して不利であるまい、又社債の發行額も五百萬圓と云ふ說もあつたやうだが、東拓の金融方面に於ける活動能力の著しく擴大されて居る其の企業資金の放資をも認められた今日、一千萬圓は過大でない、內地は戰後新企業が十億圓以上にも上つたと云ふ勢ひである、すべて財界の數字は此二三年の間に倍が違つて來た東拓も今後其の活動を殆んど世界的に行つて行かうと云ふのだから資金は幾千あつても宜しいのであらう併ほ東拓の內債は今回が初めての試みである、從つて其の結果は大に注目に値するものありと云つて宜しい

誰（70）

布施生譯



行つてみると成程時が物を破壞する力は恐ろしい、さしもに壯麗な大名屋敷も今は軒傾き欄間落ちて室は苔塵と鳥獸の糞とに埋まつてゐる。

『こんな破屋を買ふ人があるだらうか』と獨語のやうに言ふのを聞いた六太は自分の耳を疑ふ程に驚き呆れた、田舍人の質朴な心には主人が親代々の住宅を賣拂はうといふのを宛然家を汚すものゝやうに思ひとまつたのであつた、怪しからぬ事と憤慨して思つた事を直言する勇氣は無い。

『いゝそれはお値段次第で頂戴しやうと申す人が無いでもございませんが』

『そんな人が今即刻に見附かるだらうか』

『丁度一人存じたのがございますが、それは風次郎と申す男でございまして之は何處からかの風來者でございますが、あゝ殿樣御存知でいらつしやいますか、あの千振樣のお嬢樣の名も何とか申しましたつけ、そう〳〵綾姬樣、あの方のお附を致して居りました美保と申す女の亭主でございます』剎介はそんな女に記憶はなかつた、しかし兎に角其の男に會つてみやうと云ふ事になつて宅へ尋ねて往つた途々猶話を聞くと、六太は風次郎の事を善くは思つてゐないらしい、風次郎が美保女と夫婦になつたのは十二年前で美保女は其時もう五十そこ〳〵であつたのに風次郎はやつと三十になつたばかりであつた、此結婚が愛の爲でなく金の爲である事は謂ふ迄もない、果して夫婦になつてから一週間と經たぬ間から彼は何處からか情婦を引張つてきた、そして二人して美保女を女中のやうに追使つた、それでも惡運の強い男と見えた美保女の將樣金を引出して相場をやつたのが首尾よく當つて今は成金になりかけてゐる、即ち藏部の大屋敷を買ふだけの金も出來たわけであつた。

舊領主の侯爵に訪はれると云ふ事は成金の風次郎に取つて何よりの名譽であつた、彼は自ら庭掃く追從して御客樣を迎へ入れた、流元の番人をしてゐた美保女は藏部の殿樣といふ聲を聞いて慌てて飛立つた、そして語を忘れて客間へ奔つて出たが、夫に容赦もなく一睨みされて咽元まで出懸つた言を呑込んだ、それでも殘惜しそうに躊躇してゐると、風次郎は忌々しそうに舌打して『やい、早く殿樣に一盃差上げる用意でもしやがれ、氣がきかねえとんちきぢや無いか』口汚く罵られて美保女は周章に酒杯を二つ添へて蹌々々持出た、そしてまだ何か言ひたそうにして繁々と侯爵の横顏を眺めてゐたが、二人はそれには構はず一盃飲みながら邸の取引の談判を始めた、

仁川期米

▲十七日後場▲兵庫後寄二十四錢大阪前場十四錢六十一錢後寄六十六錢東京二十

▲端境と先安

▲仁川現物界　地場玄米十八圓二十五錢より七十錢…

十七日の十一月限　後場寄付 十七圓二十八錢　止メ 十七圓二十六錢

主婦之友秋季特別號
家計整理號
家計整理　△共稼で家計の基礎を作つた我家……△主人の病氣で家政の改革……△夫に死別れた婦人の家計整理法……△收入の三分一を貯金する家計……△百圓の生活費の三分の一の貯金……
有利な婦人內職案內　△一番簡單な仕立物……△理想的內職……△上品な內職……△輸出向のレース編物……△此頃大流行の刺繍……△將來有望な造花……△手がるな內職……△景氣のよい輸出編物……
女學校出の若奥樣へ　◎家庭の無駄を止めよ（山脇博士）◎金をかけぬ着物の繰廻方（海老名夫人）◎食料品の經濟的買方（安部夫人）◎金のかゝらぬ愉快な交際法（田中夫人）◎物價騰貴難で家計整理（鈴宮夫人）◎健康を願はゞ粗食せよ（岡部院長）
▲十年間に家計の基礎を作れ（後閑菊野子）▲骨身を惜まず働く主婦たれ（法貴す子）▲女中を使はぬを名譽とせよ（手塚かね子）
◎流行おくれの着物を新しくする工夫 ◎流行着を經濟的に買ふ法 ◎古浴衣で出來る優美な絞染夜具 ◎どんな夢を見たら運がよいか ◎赤坊を丈夫に育てる秘訣 ◎田舍奥樣の東京見物記
新世帶時代の思出　△南の平滿でもつた新世帶生活（ひなぎく女）△私の嬉しさ、悲しさ、可笑しさ（なでしこ女）△新婚當時の失敗のいろ〳〵（くれなゐ女）△陸軍士官に嫁した私の思ひ出（みすゞ女）
妻の內職によつて家運を挽回（小柴丁蝶主）
家庭講談 古今名婦鑑（野口復堂）　名作繪譚 復活繪物語（石井畫伯）　寫眞鑑定 運命判斷（船井梅南）
特價 金三十錢（送料二錢）△半年分 金一圓五錢
本日出來　東京神田表神保町二 振替口座三七八六 東京家政研究會（業務繁劇のため發行所を移轉仕候）

十俵以上 御買込御希望の御方には卸直段を以て御屆け可申候
木炭買込の時機到來
商店薪炭卸部
京城旭町二丁目（電話弐二三二番）

最新刊
◎支那鑛業條例（望月爲太郎）六〇
◎法理學大綱（穗積重遠）一、〇〇
◎親族法大意（同）
◎世界の變遷（鹿野千代雄）一、三〇
◎大英と新業（田中萃一郎）一、〇〇
◎人生と教育（稻毛詛風）一、五〇
◎國民道徳百解（富吉）一、三〇
淮名人關根金次郎著 將棋 勝敗此の一手 定價六十錢
◎輸入アンデルゼン御伽噺 二、二〇
◎注文取の秘訣（淸水正己）八〇
◎早く上手になる新式習字用三體手紙の文 三五
◎新文章生花の巻（香山）一、〇〇
◎情話友禪姿（水谷西紅）六〇
京城本町一丁目 大阪屋號書店

移轉廣告
今般都合に依り左記へ移轉致候
京城本町二丁目八七
村上寫眞館横道番千代本隣
下村泰造
電話八六番

多化學工業製品
S.N.
純國產塗料其他製造
ランドリオ　アストリオ　ゴムパテー
鐵鋼木材に特効あり（實用新案）
精選時計油 保存期限極めて永し
製靴原料ゴムセメント 品質優良低廉外國品に優る
固着糊メンドラン
形錄等御申込次第進呈
新潟化學工業所 東京出張所
東京芝新櫻田町一七（電新二九四二）
黑色防腐防銹塗料

黃海道兼二浦
三菱兼二浦製鐵所
買鑛開始
今般當所製鐵原料として磁鐵鑛及赤鐵鑛の買入れを開始致候間壹ヶ年六百噸以上の豫約御希望の方は見本御送附の上產地等御申越相成候はゞ詳細御打合可致候

高島米峰先生著
熱罵冷評
東京小石川區原町六 丙午出版社 振替東京一五六八六
四六判寄贈一圓 定價 郵稅八錢
既に成金あり彼等を覺醒し成貧酒に醉ひ倒るゝ者の蔭には生活難に泣き叫べる者多きことや如何にして彼等を救濟すべきか…
高島米峰先生新著 前後廿歲 王義 好評三版 定價一圓 郵稅八錢
京城 振替二五七三 電六八四 大阪屋號

創立五年 ○高等學校及專門學校入學志願者必讀 ○中學卒業 ○速成 ○希望者には一時に全部を發送すべし ○一ヶ月分四拾五錢
高等受驗科講義錄
（會則申込次第進呈）東京市芝區南佐久間町 帝國高等受驗學會

至急廣告
去十五日飛行大會開催に先ち高官及紳士に對し招待狀又は貴賓席招待券を差上候處何人か飛行大會本部員と自稱し其の邸宅若くは官廳に就き寄附金を要求し既に渡みの向も有之候趣聞及候に就ては目下夫々取調中なるも何卒其人相、年齡等を郵便又は小生呼出電話にて御通報奉願上候
但飛行當日受付係へ御渡の御祝儀に對しては小生捺印の御禮狀を差出可申候
九月十七日 スミス飛行大會主催者 大垣丈夫（電話八七五番）

廣州出張所
京城地方法院 右大正六年九月十參日登記
移轉ス
京畿道廣州郡中垈面石村里百番地ニ
大正六年八月參拾壹日理事ノ住所ヲ
廣州地方金融組合變更
地方金融組合登記

朝鮮總督府遞信局
競爭入札 購買 一、吏員夏服外七點
詳細九月十八日ノ本府官報ニ在リ

朝鮮總督府
一、石炭（切込炭）九百五拾噸
右購買ス詳細ハ九月十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

○露國政府の布告

今後流血の慘狀は無かるべきか

露國臨時政府は全國民に對し左の布告をなしたり

コルニロフ將軍一味の謀叛は鎭定し各司令官は西南軍司令官デンキン將軍を除くの外總て政府に忠誠を盡すべき事を誓へり

コルニロフ軍は沮止せられ互に聯絡を失ひ各部隊の代表者は政府に出頭して謀叛せる自己の司令官を拘引せんことを求めたりされば今後露都に於て流粹血河の慘狀を見るが如きこと萬無かるべしと觀測せらる（露都電報）

○立憲民主黨大臣辭表

立憲民主黨各大臣は悉く辭表を提出したり（露都電報）

○ゴ將軍近く護送されん

軍事法廷にて裁判を希望す

公報に據ればコルニロフ將軍は軍事法廷にて裁判を受くることを希望しボキレフに於いて降伏せり尚同將軍は目下ボキレフの司令部內に拘禁せられ居れるが近く露都に護送せらるべし（露都電報）

○亞爾然丁排獨暴動

亞爾然丁の首都ブエノスアイレスにて十二日夜激烈なる排獨暴動勃發し暴徒は獨逸商館、獨逸倶樂部、獨逸新聞社其の他數多の建築物を燒拂ひたり獨逸公使ルクスブルグ氏は二十日歸來の筈なるを以て官憲にては目下之れが保護の爲め警戒中なり（紐育電報）

○開戰以來の被害船

獨逸潜航艇に擊沈せられたる

我が海軍省九月一日の調査に據れば開戰以來獨逸潜航艇の爲めに擊沈せられたる被害船は軍艦百隻に上り此の噸數二十萬噸、汽船二千隻此の噸數七百萬噸商船に於ては實に全世界船舶の二割を失ひたるが之を時價に換算すれば五十億圓乃至六十億圓以上に達せり（東京特電）

○露國騷亂と貿易杜絶

日露合辦銀行設立されん

露國內騷亂の爲め對露貿易杜絶し政府との取引すら見合となり殊に軍需品の取引をなしたる邦人の多くは代價回收不可能となり爲に經濟上由々敷大事を釀すに至りしを以て露國大使館員等は日本實業家と交渉の結果日露合辦の銀行を設立し一般取引上の圓滿を期する筈なるが其の內容は本月末發表せらるべし（東京特電）

○上山次官任命

十七日上山農商務次官に對し左の如く任命ありたり（東京特電）

農商務次官 上山滿之進

○松岡氏駐支仰付

十七日大藏省事務官として海外に駐剳を命せられたる松岡由三郎氏は支那駐在仰せ付けられたり（東京特電）

◉朝鮮鑛業會創立

來る三十日發會式擧行

在鮮主なる鑛業家の發起に係る朝鮮鑛業會は創立に就ては先般來代表者より鑛務總監部に對し申請中の處愈々去る九日を以て認可の指令ありたるを以つて創立委員長村田素一郎氏（總督府鑛務課長）より主なる鑛業家に對し夫々入會の勸誘狀を發したるが入會者意料外に多數に達する盛況に在り猶ほ既報の如く來る三十日左の順序に依り創立總會及び創立披露宴を擧催の筈

▲創立總會

一、期日 九月三十日（日曜日）午前十時

一、場所 城南山町京城ホテル

▲評議員會

一、期日 九月三十日午後二時 一、場所 京城ホテル

附議事項（イ）創立經過報告（ロ）定款（ハ）評議員選擧 祝詞 講演

評議員會 附議事項（イ）會長副會長監事の選擧 會長は理事を指命し理事會を開き理事長を互選す

▲創立披露宴

一、期日 三十日午後六時 一、場所 朝鮮ホテル

（イ）餘興開始六時（ロ）食堂開始七時半

因に創立披露宴には內外官民三百餘名を招待し餘興として藝妓の金山趾日立足尾兩鑛山の活動寫眞等あれば盛會を呈す可し

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○自我の自覺を目して、攘夷的、鎖國的、退嬰的、保守的と云ふが如きは、是れ一知半解の輕薄兒の寢言のみ。學問の道他なし、其の放心を求むるのみ。自我を除却して、知らず何の邊に立脚地を、求めんとするぞ。自我ありて始めて、自省あり、自省ありて、始めて精進、向上の功夫も出で來る可きのみ。

○但だ若し誤りて、自我の自覺を以て、一種の誇大妄想狂となし、一種の幻覺症となすが如きあらば、是れ實に毫厘の差、千里の別を生ずるものと云ふ可し。而して我が先進諸國、往々此の如き過誤に、陷りたるの例なしとせず。

○英國の如き、獨逸の如き、其の過誤の方法、及び方面に於ては、同じからざるも、自惚根性の爲めに、殆んど取り返しの附かぬ失策を累ねつゝあるは同一也。今回の英獨兩國の戰爭は、或る意味に於ては、大戰爭たると同時に、亦た英獨兩國の幻覺より生じたる衝突也。

○吾人は返すぐも、前車の覆るを鑑み、自から警しむる所なかる可らず。英獨の先進者にして、猶ほ自惚は、其の聰明を失墜せしむ。況んや未だ英獨たらざる者に於てをや。

○自我の自覺は、自惚の爲めにあらず、自省力の爲め也。自から其の足らざるを知りて、虛心坦懷、世界の眞、善、美を我に致さんが爲め也。所謂る五條御誓文の中の知識を、世界に求めんが爲め也。

◉鴨江造船會社

滿洲企業家の計畫

安東貯金銀行專務取締役藤平泰一、奉天南滿銀行頭取藤田九一郎、新義州多田榮吉諸氏の發起に依り今回造船所經營の計畫具體的に決定を見るに至り目下北筋へ設立認可申請中なりとのことなるが其內容を聞くに資本金總額五十萬圓にして第一回に四分一の拂込を爲し名稱を鴨綠江造船株式會社と稱し本店を安東縣に支店を新義州に置き且つ造船工場を朝鮮側中の島北下洞に建設する筈にて認可の指令あり次第直ちに工事に着手し鴨綠江材を利用して木造船を建造する目的なるが最初の規模は一千噸級以下のものを建造するに止め將來事業の進展に伴ひ增資を爲すと共に規模の擴張を行ふ可き本年內は主として工場の設備と職工の養成に努め同時に五百噸級の西洋型帆船（補助機關附）二隻の建造に着手し明春解氷を待ちて進水を行ふ豫定なり尚ほ同社の株式は安新兩地及び奉天の發起人側にて全部之を引受け一般より公募せざる方針なりと（安東電）

◉京漢線一部不通

北京起點約百四十一哩地點臨洛關及び北京起點約二百六十三哩間は十六日來の豪雨に因り河水氾濫し線路浸水の爲め列車不通となりたるが破損箇所多くして之れが復舊工事には數週間を要する見込なれば當分の間は徒步連絡に依るの外なしとの旨其筋に通知ありたり

◉穀商大會

第三日午後

十七日午後一時より午前に引續き開く▲穀商大會の常設事務所設置に關する件は結局京城に其本部を設置し各地方に支部を置く事と決定し朝鮮穀物貿易聯合組合と命名せしが尚鮮人をも本組合に入會せしむるや否やの問題起り二、三の意見ありし結果支部の都合に由り鮮人を入會せしむるも差支へなき事とし、其れより仁川與田氏の臨時提案に決定せられしが▲『米穀檢查規則に由り繩叺を四斗叺を來年三月迄使用し得べき樣當局に申請する事』を附議せしが反對意見出で決議するに至らず、二時阿部鮮銀營業局長の來會を待て追加提案▲『大連其他支那取引改善に關すること』の件を附議、提出者與田氏說明して山東滿洲支那方面取引に關しては一般に改善の必要を認め貨物取引に關する諸種爲替期間（目下三十日）を其れ以內に漸次縮少せられ度き事の意見出づるに及び阿部鮮銀局長は爲替取組の樣式を說明し『結局本案の主旨は大連滿洲方面取引に就ては純粹なる荷爲替に由りて實行し度しと云ふに歸落すべしと思惟す此點に於て鮮銀のみならずあらゆる金融業者は荷爲替に據る取引を最も確實なる者と認め原案に贊成す』る旨を述べ原案可決之れより前日來懸案となれる事項を順次に附議する事とし京城側提出案第二項▲『鐵道倉庫の增設を爲し且つ各驛を通じて野積保管の途を設くる事とし運送力不足の場合は發送預り受順次を以つて貨物發送を爲すこと』を鐵道當局に申請する事』の議事に入りしが仁川側より異議を撤回せし爲め原案決定せり次に同第五項▲『行李稅出稅撤廢に至る迄を通じて課稅標準を一定せられむこと』を其筋へ申請のこと』を附議し意見岐れしも結局關稅課の照會に基き『各稅關所在地每の最近一箇年平均價格を更に平均し以つて將來六ヶ月間の課稅標準とする事其の豫告期間を二ヶ月とする事』を議決せり次に慶北提案▲『地主に對し籾の改良桝及び斤量を一定せしむること』は決議事項と成らず單に希望事項に終る次に第六項▲『籾の俵裝に生產者の名札を附せしむること』の案を可決し再び追加提案議事に移り鎭南浦提出▲『新に發布せられたる米穀檢查令を機とし全鮮生產穀物の桝入を一定したきこと』『各道設檢查員の統一を廣くし檢查請求に關する檢查の外總ての穀物に關し品質改良を目的とする巡回的臨時臨檢の實行を其筋に申請すること』を附議せしが第一項は尚ほ研究の餘地ありとし宿題となり第二項は可決平澤提案▲『玄米種類の檢查實施を其筋に請願すること』の議案は決議に至らず之れにて議長は議事の終了を告げ東拓足立課長の演說に移る同氏は

足立課長演說

『會社の殖產狀況を二、三十分簡單に說明して諸君の參考に供せん』と前提し最近調査に由る東拓の作柄を各出張所前に說明し前年に對比する增減收の步合を列擧し即ち

▲馬山八步六厘の減收▲大邱一割七厘の減▲榮山浦一步五厘の減▲全北一割八步增收▲江景四步增▲木浦一割七步減▲京城一割六步減▲黃州五割八步減▲平壤五步四厘減▲元山四步七厘減▲平均一割一步六厘の減收

にして南鮮地方の好況に反し北鮮地方殊に京畿黃海兩道は挿秧當時の旱害に由り不作を來せりと說明し次に米の收穫狀況を計數に因りて明示し尚ほ東拓の品種改良狀況に說き及ぶ所あり、終つて第一回穀商大會に於ける宿題議案に移り▲『穀物內地取引に就いては賣約成立と同時に買主より時價二割以上の合金を徵すること』のみを可決し委員附托事項たる『鮮內穀物取引に就いては桝量は發送地の習慣に依ること但し扇を使用せずして手量にて所定の桝量なき物は賣主の責任とす』『小麥及び籾の賣買に在りては正味百斤を以つて立値とすること』『全鮮米豆の容量を一定し總て五斗五合入とし二叺を以つて一石とし受渡をなすこと』及び『全鮮の桝廻の方法及び容量を一定實施すること』の案は米穀檢查規則の發布を見たる爲め一項に認め修正を加へて申請することゝなり時に五時、議長は議場に諮りて次回會期を明年九月上旬釜山に開き其の開期は大阪方面出張委員の報告會見の都合を俟て決定する旨を宣し閉會の辭を述べ五時十分大會を終り散會せり

◉土木出張所開期

既報の如く總督府に於ては土木局出張所を平壤に設け第二期治道工事の準備を調へ引續き起工後の監督を爲す筈なるが廳舍は差當り府廳の一部を借用し來十月中旬より事務を開始すべく其內慈惠院附近に在る元土木局出張所の建物を稅關附近に建直し移轉することゝなるべしと

◉軍司令官西巡

松川軍司令官は豫報の如く十八日午前九時三十分龍山發列車にて西鮮部隊巡視の途に就くべく隨行は山本參謀、吉城副官なり

◉松川軍司令官張宴

軍司令官松川敏胤中將は十七日午後七時より龍山官邸に於て在京各國領事を主賓として招待し新任の披露宴を張りたるが陪賓には立花第十九師團長、市川軍參謀長を始め各部長及び副官等列席せり

◉松浦少將一行

東京砲兵工廠技術課長松浦陸軍少將同朝鮮兵器製造所長近藤砲兵中佐の一行は十七日夜平壤へ向ふ豫定の處十八日出發の事となれり

◉岡本參謀長動靜

鎭海に北鮮各部隊の狀況並に地理實查の爲め出張したる第十九師團參謀長岡本大佐一行は既に會寧清津地方の巡視を遂げ目下羅南各部隊を巡視中なるが愈十九日夜龍山驛著歸任すべし

◉國分長官歸任

全羅南道方面へ出張中なりし國分司法部長官は十七日午後九時南大門著列車にて歸任せり

◉國澤理事長歸期

目下東上中の滿鐵理事長國澤新兵衛氏一行は同地に於ける事務打合せも大體終了を告げたれば一兩日中に東京出發歸任の途に就くべき豫定なりと關係者に內報ありたりと

◉公平理事訪問

東拓社債發行に付松平東拓理事は十七日朝鈴木度支部長官を訪問せり

◉和田氏來鮮せん

和田維四郎氏は來る三十日京城に於て擧行さる可き朝鮮鑛業會發會式に臨席の爲め來鮮す可し

◉志賀信光氏退職

元朝鮮鐵道管理局參事たりし志賀信光氏は今回依願滿鐵社員を免せられたりと

◉今津技師免官

中央試驗所技師今津明氏は十四日附依願本官を免せられたり

◉神谷代議士動靜

元山方面視察中なりし神谷代議士は十六日夜入京十七日朝平壤へ出發せり

◉大藏技師入京

支那方面視察中なりし鐵道院大藏技師は十七日朝安東より入京せり

◉德富監督著京

本社監督德富猪一郎氏は十七日午後九時南大門驛著列車にて入京北門內清雲洞なる自邸觀巢居に入れり

◉王壬氏入京

國民新聞記者王壬武四郎氏は德富本社監督に隨行十七日夜九時入京清光館に投せり

人事消息

▲釋宗演老師▲大野宗達氏▲二條厚基氏 は十八日午前九時十分南大門驛發平壤へ

▲安川和三郎氏（東拓社員） 十七日朝入京不知火へ

▲小沼定藏氏（三井金剛鑛山主任） 同上浦尾へ

▲吉村謙三氏（隆盆水利組合理事） 同上

▲足立瀧二郎氏（十八銀行取締役） 十七日午後九時南大門驛著歸京

百聞百種

露國騷動の影響を受けて日本で一番困つて居るのは露國へ軍需品を賣り込んだ連中だ▲某實業家などは昨年末に受取る筈の二百八十萬圓をまだ今日迄も送つて來ぬ▲待ち兼ねて日文矢文で催促するとすぐ支拂ふ樣な遊金はないマア之れでも取て置て呉れと送つて來たのが來年七月拂ひの約束手形▲之を聞いた久原房之助君二百萬や三百萬位の端金ならまだしも▲古河や僕の所なんかは三千萬以上の貸になつて居る▲泰平組などはもつとある筈だよとは流石に大きい▲スミスが龍山で妙技を振つてから大分飛行機の話が處々ではづんで居るから▲一とつ米國最新式の飛行機を御紹介申そう▲之れはカーチス飛行機會社で發明した新式水上飛行機で海岸防備用などには洵に偏强千萬なもので▲二百五十馬力の發動機をボートの中に据ゑ付け▲水上を航行する時にはスクルーに動力を給し▲空を飛ぶ時にはプロペラーに動力を與へる▲而も此の動力の轉換は頗る巧妙迅速に自然に行はれるので▲全く鷗の水空自在の飛び振りを見るやうだとの事▲但し紙上の發明か實際かは拙者は存せぬ

○暹羅皇族一行

……建造せる木造船三千餘隻に達し航運界は今や木造船の時代に躍らんとしつゝ……

京奉、津浦、隴海、京漢の四鐵道間の旅客運絡輸送を開始すると共に……

……阪に來り花屋旅館に投宿せり（大阪特電）

○鞍山站製鐵所長

南滿洲鐵……

本年は內地に於ける右……

……充分の準備をなせることなれば忽ち中の大評判なり右の結果一噸に付き約二圓方値上げせらるべく奉天遼陽其他滿洲全體の石炭相場に影響……上せり（釜山特電）

譯官川上立一郎氏は十六日午後七時來釜同八時三十分出港連絡船にて東……

……道村東洋煉瓦株式會社煉瓦工場の一部崩壞し三十六名の負傷者を出したり（大阪特電）

朝鮮行政法要論 鐵路警察署長 法學士 永野清先生著 全一冊 定價一圓 送料二十錢

朝鮮司法警察界の偉材永野法學士が其最も得意とする行政につき多年在職の便を利用し孜々として蒐集せる研究材料に對し廣く學理と實驗とを擇ねて一々詳密適切なる論評を下せるものなり其の內容は財務、司法、軍事、內務、涉外的行政にして眞に必讀無二の好伴侶たり

賣捌所 京城大和町一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城 振替貯金口座 京城三三三番 電話 二三二一、二三二二、一〇六、一二六〇、一二六一

支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村

出張所

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

東京法律事務所 特許課

特許代理 東京 京橋 新肴町一 振替 東京二六一二七 電話 京橋（長）一五四〇番 三〇四八番 鑑定無料 特許要錄進呈

特許辨理士辯護士 吉田三市郎 特許辨理士辯護士 田坂貞雄 特許辨理士工學士 中川五郎吉 特許辨理士 同 保次郎 特許辨理士辯護士 佐々木藤市郎

人參エキス

內用精効能 神經衰弱、老衰、肺病、胸病、痔病、子宮病、胃腸病、營養不良より起る諸病の滋養强壯劑なり

外用精効能 神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打撲傷、腫物、肩の凝りに塗れば筋の張等によし

定價 六匁 三十五錢 十二匁 六十五錢 二十五匁 一圓 四十五匁 二圓

人參直取引大販賣所 京城本町一丁目 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五一番

人參エキス 滋養藥 菓餡 朝鮮名產一切 製造本舖 京城本町一丁目 電話一八七〇番 津村兄弟商會人參部

支店 龍山元町二丁目 龍山支店・京釜線大邱驛前 大邱支店・朝鮮釜山大倉町 電話三九四番 釜山支店

其他全道の藥舖にて販賣致居候萬一藥舖に無之御地方の方は直接本舖に御注文次第速に發送可仕代金は振替に依る事が最も安全且御便利に候本店支店共市內は御一報次第配達

コールタール 京城電氣會社製 特約販賣 龍山漢江通り八（電話四九番） 金物商 島田忠作商店

登錄商標 くだりはらの氣持よく止まる 健胃固腸丸 食傷、寢冷、時候あたりから起る下痢と腹痛に第一等藥 藥價 十錢 二十錢 五十錢 一円 三円 五円 本舖 大阪 谷田春堂 到る處の藥店に販賣せらる

●木船建造旺盛

船舶の時價昂騰して止る所を知らず爲に木造船の需要多く目下大阪にて

●西[illegible]鐵道聯絡輸送開始

今回北京、漢口兩地間沿線に屬する

[illegible]切符を[illegible]の二割引なりと（[illegible]）

●朝郵社長大阪著

朝鮮郵船會社長原田金之祐氏は十六日大[illegible]港連絡船壹岐丸より上陸同十一時發列車にて北行せり（釜山特電）

●滿鐵石炭値上

[illegible]滿鐵は九月十日石炭値上げの通告を發し大連市に於ては各販賣店を始め大狼狽の氣味にて二百噸三百噸と多大の註文を發したるに滿鐵は[illegible]回は更に其の轍を履まず斯く迄[illegible]の販賣をなしたると空前なりとて市[illegible]して思惑買をなすの例なりしが今[illegible]して今冬は滿洲人士の冬籠りに一層の苦痛あるべき模樣也（大連）

●川上元通譯官

元總督府通[illegible]

●煉瓦工場崩壞

[illegible]十七日午後四時大阪府下北河內郡住[illegible]して負傷者を出す

●朝鮮人蔘 興味ある研究

●私は先づ人蔘に最も損害多き『赤腐病』の豫防設備を來年採れる一部分に施した◆

理學博士 三宅驥一氏談

開城の人蔘は此の夏の旱魃つゞきで發育如何かと思ふが成績は惡くない豫想である

▽◆今秋の收穫 は稍々尠ないが平年の豫定額以上には必らず出來る、昨年の紅蔘は四萬斤以上であつたが今年は充分それ以上であらうと思ふ、何分人蔘は播種してから六年たゝねば掘り出す譯に行かぬもので稻や麥を作るとは

▽◆稍々趣きを 異にする それ故に毎年の收穫は六年間の豐凶にもよるをだが先づ年額三萬五六千斤出來れば充分と云ふてもよろしい

私が朝鮮人蔘の改良及び病毒の驅除に著手したのは今から九年前で、今年で滿八箇年となるが愈よ私の研究した

▽◆結果を應用 したのは明後年から掘り出されることゝなる私は先づ人蔘に最も損害多き『赤腐病』の豫防に努めて見た、來年採れる一部分のものには此の豫防設備が施されてある、其の成績如何は頗る私にとつて興味ある問題なるが從來とても

▽◆私の努力は 稍々効果が現れて來て居る、これは主として當局の施設その宜しきを得た結果であるが朝鮮人蔘の聲價をあげる上には頗る成功したものと自負して居る改良の栽培法は先づ一間（幅二尺五寸長さ六尺の畦）の消毒した土に

▽◆千本の苗を 植ゑ、次いで大きな苗は一旦藥液に浸して一間の畦に三十二本宛植ゑて居る、はじめ私が此の方法を奬勵した時は開城の人には少しも信を措かず『少くとも人蔘の栽培だけはわれ〳〵鮮人の方が本家である……』と肯かなかつたが昨今に至つては

▽◆全く覺醒し たやうである、現に開城の藥業組合の如きも年來からは自分自身に藥を求めて右の方法を行ふことに決した、これを最初に當局から無償で藥を渡しても用ゐなかつた事に比べると栽培家の頭も餘程進步したものである、明治四十三年の紅蔘收穫は

▽◆僅々九百斤 政府の收入は七萬圓に過ぎなかつたが昨年の收穫は四萬三千斤、價格二百七十萬圓に達した、殆んど四十倍の增收である、今後も無論此の收穫をつゞけて年々二百五十萬圓內外の確實なる收入が出來たのである、紅蔘は主に仁川經由で南支那に輸出する、大正五年の輸出額は

▽◆內地仕向の 八千餘圓を加へて百廿七萬二千七百八十三圓にのぼつて居る、人蔘に就いてはまだ赤腐病以外に五六種の研究すべき病氣がある、これは逐次豫防法を施す積りで居るが一面また他の病氣の來襲に對しても豫防せねばならぬ、また種子の改良も必要であり、且つ

▽◆一層有効で 値段廉き藥品も土質に適應したもの等を研究しなければならぬ、しかし私は毎年掘り出した人蔘について新らしい結果を發見するをよろこんで居る

◉李王妃殿下 御誕辰內祝宴

來る二十日は昌德宮李王妃殿下御誕生日に相當するを以て午後零時より仁政殿に於て內祝宴を張り王家御緣家夫妻及び李王職高等官夫妻等七十餘名を招待し朝鮮古樂の奏演ある筈

◉暴行巡警懲罰 琿春暴動事件

琿春支那巡警暴行事件に付き十三日午後二時支那巡警全部琿春の我領事館前に整列敬禮して謝罪の意を表せり倘ほ十四日迄に暴行巡警七名兵士四名を免職の上懲罰に附せり（淸津特電）

◉宗演老師動靜

豫て入京中なりし釋宗演老師は十七日午前九時總督府を訪問京城日報社[illegible]

天井知らずの 銀の相場

＝名目上の價値＝歐洲戰亂の影響＝世界の產額增加＝銀貨本位の國

◆天井知らずの 銀の天井知らずの相場は遂に五十片を跳ね返した、五十片とは言ふまでもなく英京倫敦に於ける純位九二五の銀一オンスに對する相場である

◆今日の如き 相場となれば大な舊五十錢銀貨で七十六錢二厘三毛、小形のもので五十七錢一厘六毛、單に名目上の價値から見るも前者は一個につき廿六錢二厘三毛の騰貴、後者に於て七錢一厘六毛の高値である、普通銀貨の如き補助貨幣は其名目上の價値と實體價値との間に

◆著しき差隔 あり、假にこれを大戰勃發當時の廿二片臺の相場に見れば五十錢銀貨一個につきその半額の價廿五錢を上下したものである、然るに今日の場合では實價は無論、名目價値を飛び越ゑて天井知らずの相場を示して居る、更にこれを廿錢銀貨に就いて見ると

◆舊大形一個 につき卅錢四厘九毛、新しき小形で廿二錢八厘七毛、猶ほ十錢銀貨で云へば舊貨で十五錢二厘五毛、新貨で十一錢四厘三毛の價値を有つ、されば銀貨を本位とする支那に於ては金に對する銀の相場著しき大差を生じ八月十二日奉天に於ける比例は大洋錢五十九元に對し

◆金貨百圓の 割合となつた、即ち去年の六月頃に比して約倍額の高値を示した、現に朝鮮の國境方面に於てはこれまでに度々銀貨の流失した跡がある、今では持出しの制限があるけれども目下の如き暴騰では奸商の鑄潰しにかゝる者がないとも限らぬ──無論これからは罰金または體刑もあるけれども──銀の暴騰した

◆原因は戰爭 の爲めに生產額の減少したのと各國共に補助貨幣の增鑄による、今後の相場は逆睹し得られぬが今の向きでは下落する樣子はなさ相である、銀は今から廿七年前の一八九〇年に五十四片八分の五を示しそれ以來漸次下落して一九〇〇年に卅片十六分の三となり戰前一九一一年には廿五片八分の三に下つてゐた、これは

◆世界の產額 が年々增加したのと世界の列國が多く金本位を採用したからである、然るに世界產金の慚增と經濟の進步に伴ふ補助貨の需要は漸次銀相場を持ち上げて遂に世界の戰亂となつた、世界の大產銀國は墨西哥と北米合衆國で亞細亞では日本である、殊に墨西哥は世界產額の

◆三分の一を 占めて居る世界で銀貨本位の國は目下支那、印度、墨西哥等であるが殊に印度の農作物の豐凶は銀塊相場の變動に大關係がある、銀は愈よ不振くなつた

◇秋の山……茸狩に◇

謳の聲にも日の光りにも秋は京城に訪づれた、郊外に出づれば近い[illegible]にも南山にも秋草の叢に茸を見る、山には松茸をはじめしめぢの類も多ければわけて多きは初茸である秋の野山に七草を賞でつゝ一日の淸遊も面白かるべし（寫眞は十四日龍山麓にて）

に立寄り更に京城中學校に於て一場の講演を試みたる上鮮銀三島理事邸にて諸方面より依賴の揮毫を爲せり猶ほ午後五時よりは銀行集會所に於ける講演會に臨みしが十八日は愈よ午前九時十分南大門驛發の列車にて平壤へ向ふべしと

◉スミス氏飛行 群山に於ける

スミス氏は十七日午前群山著直ちに公園下の飛行場に於て二回の飛行を試み妙技を演じたるが觀衆數萬人に達し大喝采を博したり天野群山府尹はスミス氏に花環を贈りたり（群山特電）

◉資產家の賭博

元山上洞居住元山府協議員朴昌祚（三四）同所居住農工銀行理事金源禎（四七）中里李基鉉（五五）通川郡歙坪里李泰炯（四九）元山南山洞黃贊一（六〇）上里崔東亮（四三）外三名は相當の資產を有するものなるが昨年來上里朱允章外二戸にて三回に亙り賭博を爲し一回に百圓賭けにて取引したる場錢は夥しき額に達したることを所轄元山警察署にて探知し犯人は悉く引致されたる上相當處罰されたり

◉機關喞筒講習開始

九月十七日より京畿道警務部南大門消防所に於て機關喞筒講習會を開催せり同日午前九時講習員常備消防手三十名及消防係員三名並に總督府より二名合計三十五名は所定の場所に整列し警務部長代理吉田副官の講習に關する訓示に次て總督府鐵道局より派遣の宮內講師を紹介し同氏の挨拶あり直に講習を開きたり倘期間は十日間にして毎日午前九時より十一時迄の二時間科目は蒸汽喞筒、ガソリン喞筒二種の分解組立等詳細なる教習を受くる筈なりと

◉釘頭に鉛を被せて

＝小銃彈丸を製造せんとして＝ 瑞典行の荷物箱の中にて發見

ブルークリンの波止場にて偶然にも一個の荷物箱破壞せられたるが調査の結果右は瑞典行釘槨（三百個）にて其中に驚くべき事實を發見したり、幷は該釘槨在中の釘頭に鉛を被せ此の鉛は容易に取外し得べきものにて之れを以て小銃彈丸一個宛を製造し得る樣裝置しあり而して輸出特許狀には鉛に關して何等記載する所なかりしと（紐育電報）

◉行囊破り捕はる

平壤府生れ金道俊（二一）は元平南永柔郵便所の遞送夫を勤務中去る七月遞送中の赤行囊を破り在中の現金三百四十九圓を盜みて金英燦と僞名して上海に航し米租界北豐路聚德里なる金基燁方に潜伏中を在上海日本領事館警察署に逮捕され身柄は不日平壤に押送さるゝ筈なりと

◉不義の兒

黃海道安岳郡西河面張拥一の妻金順億（二九）は夫の不在中近所に住む張玄九（三七）と不義の關係を結ぶに至り結果去る七月二十一日男子を分娩したるが始末に困り本月初旬載寧郡南面碑石里の實家に歸りて同溫泉に向ひ旅宿李東方に一泊し翌朝同家の主婦に一寸入浴中此の兒を預り吳れと言ひ遺したる儘一目散に逃走したるも取押へられ載寧南部支廳に於て懲役三月に處せられたり

◉給仕及驛夫募集

滿鐵京城管理局にては今回列車及び朝鮮ホテル給仕を募集する由年齡は十五歲以上資格は高等小學校卒業程度なりと又同時に驛夫をも募集する由なるが右は內鮮人共希望することを得と尚ほ右希望者は履歷書携帶隨時南大門驛に出頭すべしと

◉悲慘なる一家へ 其後の同情金

石川鋼三郎一家へ
▲金一圓 龍山漢江通り十一番地 山本高行氏
▲金五十錢 京城本町某店小僧

うわさのうわさ

▲先年京城に來て朝鮮の鳥の豐富なことに驚いて歸つた犬博士の田丸氏は頃日神戶の敏馬で獵犬學校を開いて居る▲氏は世界各國の犬を研究して來た人で殆んど犬とお話の出來るほどの大博士であるが獵犬などは手足の如くに使て居る▲學校の月謝は一頭廿圓だが昨今生徒滿員の大繁昌だといふ▲李王職動物園入口の弘化門には頃日昌慶園なる大看板が掲つた、文字は閔長官の筆になり彫刻は大石南山君の手になつたといふ▲欅の材で綠靑の色が調和よく出來てゐる▲秋になつたので動物園や植物園の入場者はなか〳〵增ゑた十六日の日曜は前日のスミスの宙返りに草臥れて尠なかつたがそれでも二千人以上▲可愛らしい坊ちやんや孃ちやんがお辨當さげて觀に來るのが何より可愛らしい▲頃日のやうに補助貨拂底なればむかしの私票式のものを復活したらどんなものか▲現に滿洲では拾錢、廿錢、五十錢の鮮銀の一覽拂小額券を發行して好成績を收めて居る……といふ者がある▲しかし龍山印刷局でも印刷がなか〳〵急に間に合はぬといふ

鑛業講習錄

本校は最新式通信教授を以て鑛業技手及鑛務員を養成し目下缺員に苦しむ斯界に就職紹介するを目的とす
規則往復はかきにて申込あれ◉東京神田區仲猿樂町大日本通信鑛山學校

東洋拓殖株式會社債券募集

今回東洋拓殖株式會社債券發行ニ付兩行ニ於テ引受募集致候間左記各項御承知ノ上兩行本店、及內地、朝鮮、滿洲、臺灣各支店ヘ御申込被下度候也

一 募集總額 金壹千萬円也
一 債券ノ種類 百円、五百円及壹千円ノ三種トシ無記名式利札附トス但請求ニ依リテハ記名式ト爲スコトヲ得
一 利率 年六分
一 發行價格 額面壹百圓ニ付九拾八円
一 償還ノ方法及期限 發行ノ日ヨリ參ケ年間据置キ爾後拾ケ年間毎年五拾萬圓ヨリ百五拾萬圓迄ノ範圍ニ於テ抽籤ヲ以テ隨時償還ヲ爲スモノトス
一 利子支拂方法 毎年六月壹日及拾貳月壹日ニ前六ケ月分ヲ利札引換ニ支拂フ但シ發行及償還ノ際六ケ月ニ滿タサル場合ハ月割壹ケ月ニ滿タサル場合ハ日割ヲ以テ計算シ發行當日ヨリ償還當日マテ利子ヲ附スルモノトス
一 元利金支拂場所 兩行本店及內地、朝鮮、滿洲、臺灣各支店
一 申込期間 大正六年九月拾七日ヨリ同貳拾五日迄 但シ都合ニヨリ期限前ニ締切ルコトアルヘシ
一 申込證據金 額面壹百圓ニ付參円（拂込金ニ振替フ）
一 募入方法 申込ノ早キモノヨリ募集シ其締切前ノモノハ適宜募入ヲ定ム
一 拂込期限 大正六年拾月貳拾五日

大正六年九月拾七日

引受銀行 朝鮮銀行 株式會社臺灣銀行

小鳥捕用 カスミ網
二棚三間半 三圓 二棚五間 四圓 漁具御用
◉其他雁鴨兎網等種々あり
京城永樂町 吉備商會 電話三一四番 振替京城四三八番

商品委託賣買開始

弊社從來雜貨（各地天產物、各地產製造加工品）直輸入業に從事致居候處以御蔭日增盛榮之幸運に進展致居候段感謝之至りに奉存候就ては今回各地取引先の御勸誘に原すき前記營業之外地方諸彥の御便宜を圖り商品委託賣買を開始致し申候て一般の御希望を充すべく公開仕候要は地方特產物各種發明品、等即ち地方特有之商品を京、阪、神に實賣代理業に有之候即ち地方諸彥より御發送の商品は委託商品として京、阪、神に於て殷商額を以て販賣なし即時計算仕拂可申該計算を以て京、阪、神の製品何品によらず御希望なれば本社にて買付し其剩餘は即時計算御送金可申上候弊社は京、阪、神に專屬工場若くは特約工場を各方面に有し居候へば御希望の方は御照會次第詳細御通知可申上候取引御希望の方は御指定の地方へ取次擴張可致候間御見本御發送の上御知照相成度候

雜貨商輸出入業 大阪市北區空心町一丁目十一番地 合名會社 福河洋行 電話東三四九一番 三四九二番 振替大阪一九三四三 發電略號（フク）又（フ）

營業▲品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 龍山電話九七三番 振替口座京城〇〇四番

百圓進呈 りん病 ばい毒 帝國醫科大學病院
麻病藥王湯は治淋劑とし梅毒藥王湯は驅梅內服藥とし醫學上最有効と確定し[illegible]等に於て常規配劑せる高貴藥たることを保證す若し前述の證言に違ふる事を發見せる時は分析料として百圓進呈
▽あらゆる治療を試みるも効なき患者は一度來試あれ
にせ物あり 大阪有田[illegible]
京城南大門外德田藥房 大阪ドラッグ商會藥局本部
他の藥店ニ販賣を不許
京城 南大門通 大阪ドラッグ商會

京日案內
普通 一回前金（一行一日拾錢） 番外[illegible]

◉生菓子製造上職人數名雇入希望者は至急來談あれ 新龍山三角地陸軍御用菓子商（電三一二番）石見堂 573
◉熟練なる電話交換手を募集す希望者は至急本人來談あれ 黃金町一丁目 物產會社 578
牛乳配達人入用年齡二十歲以上三十歲迄自轉車乘務出來る者 京城西大門外冷洞東洋牧場 電話九三六番 520
◉店員入用十五六歲より廿歲迄委細本人至急來談あれ但保證人を要す 龍山漢江通六番地 京本小間物店 574
◉讀店、茶及上菓子店 本町四丁目老舗七年得意澤山有 申込所本町四丁目 雜貨商 青木田呉服店 577
大募集 洋書販賣員百名入用有利條件附地方特約店 東京淺草駒形 東洋講話應申込協會 566
◉土地建物賣却 格安坪拾圓五十錢附至急 北米倉町百六十五番地 569
外交員及店員募集 但し經驗ある者 市內に要保證人 京城美濃屋自轉車店 電二三七三 50
賣物 電話一個 古自轉車五臺 [illegible]
◉給仕採用 年齡十五六歲 高等小學卒業程度の者一名採用す希望者本人來談 京城旭町一丁目 白上商店 581
礦物定量分析 大平町二丁目 朝鮮公論社 左横小路 坂元分析所 553

五女和子儀永々病氣療養中の處養生不叶昨日午前一時死去致候に付此段御通知申上候
追而葬式の儀は本日午後四時自宅出棺本町西本願寺に於て相營候
大正六年九月十八日
三國商會
父 高木萬壽太

櫻御殿

第十九回 大阪 霞の家主人

舊恩(三)

清洲城の大廣間には、先陣を引き受けた諸大將が犇々詰める、直吉は上使と云ふので上座に著く、井伊本多は左右に控へて、後見の役を勤める。

座が定まると、忠勝は直吉の袖を引いて『今朝の約束を忘れては爲らぬぞ』との意味を目で知らせた、直吉は見ぬような風をして、眞面目な顏を一統の方へ向けた

『手前は性質の正直者ぢや、内府樣が今日の使者に手前をお選びなされたのは、手前の正直を御存じになつて居るからぢや、諸公豫め此儀を御承知下されへ』と斷つた

一統は滿足のように見わた、井伊本多はやつと安堵する

『由つて手前、内府樣から承はつた口上を其のまゝに申し上げる、宜しいか』と又た念を押して『御一統は内府樣御出陣の後れるのを、何故ぢやと思召します』

誰も答へる者がない井伊本多は變なことを云ひ出したなと目を側める

『此皆な御一統の上に、御疑念をお持ちなさる故でござるわ』

本多も井伊も驚いて顏の色を變へる

『何と仰せぢや』

第一に疑問の聲を發したは堀尾信濃守忠氏(堀尾茂助吉晴の子)であつた。

『そこが内府公ぢや、用心に用心を持たせたまふ』と直吉は語り續ける『つまりは、諸公に對し、一戰を望みたまふのぢや、すれば果して本心からのお味方か、口前だけの義理か是れにて分明致すに付き、假し合戰に利はなくとも、速かに江戸をお立ち遊ばす筈で、日々注進をお待ち兼ねぢや、御苦勞ながら明日にも木曾川を渡り下さることは爲るまいか、夫で無くては、左右埒が開きかね申す』

忠勝も直政も、直吉が約束を反古にして一大事を口走つて了つたのを見、一座は何の樣に混雜するであらうかと危みながら見て居た、もう此うなれば止むを得ぬ、内府公の思召しを不當としてお家に弓を引くものあらば、懸け寄つて一刀に刺し殺し、大事を小事で終まさうと思ひ決める假令其の爲め一命を失ふとも、此れまでに一致して居る味方を瓦解させる事は忍びぬとの心である

一座の目には、直吉の今の詞が有るまじき事に聞こえた『これほどにして居て、疑はれて詰るものか』との不平も湧く『そんな人を大將に戴んで將來何の樂みがあらう、足元の明い中に、大阪方へ味方しやうか』と二心を持つ者もある、其の爲め一座が急に色めく

此の時、正則は恥ぢ入つたように頭を上げて

『御有理々々、我輩そこに心付かず、便々と内府公の御出馬を待つて居つた不用意、今心付いた、先陣は福島左衞門大夫と直々仰せを受けて居る、然も目前に敵を控へて、斯う合戰に後れたは、五十年來覺えぬ不覺ぢや、委細を心得、謹んで御沙汰を承はる』と例の竹を割つたように云つた

もし、此處にて正則一言の非を打たば、少くも一座の半分は、家康の手を放れて、假し三成には味方せずとも、旗を卷いて本國へ歸つたであらう、すれば家康の大事である、東西の勝敗未だ何れとも決し難ねる處を、正則逸早く命令に從ふ旨を返答したので、誰一人不平を唱へる者もなく落著した

まことに正則は、家康の爲めに、大事の場所を二度までも助け救つた本多と井伊とは互に歡びの笑を湛へた。

直吉も滿足する

その日の會合はこれで終る、正則は速かに合戰を開いて、まづ手近の諸城から攻め落し、内府公に對し二心無き旨を堅ふ連判狀を作製した池田、黒田、蜂須賀さに血判する、以下の諸大將は異議はない、直吉はそれを懷にして江戸に歸つた

○沈香會句錄

殘暑

送迎でお動きもならぬ驛の殘暑 安對
昨夜の寢樣はと笑はれし朝の殘暑 同
果物に注意せよとの殘暑の便り 同
肥つた女客能く喋べる殘暑 同
碁に飽きて鐵炎に病治す殘暑 同
電車軋るカーブの油とろけたる殘暑 栢川
漸く慰勞休暇貰らつた今日の殘暑 同
風呂上りの汗に秋暑き夕刊の鈴 同
ごた／＼ものが並べられて棚に暑さ殘れり 汀鷗
吊臺が黄ばんでる殘暑の窓識 同
秋暑き草藪を渡る蛇悲し 同
赤い蜻蛉が殘暑の石に止まつてゐる 同
殘暑の路に兩側から兒が付ヶ圍い 歌津女
洪水後の荒んだ草花に殘暑 同
嘆した友の手紙二人で讀む殘暑 同
辨か遅鈍を云怒す厨裡秋暑し 同
煙突の彼方を見上ぐる殘暑の窓識 山與水
桐の木蔭りて今日伐られる畑の殘暑 同
娯瓶の沈澱が舞ふのを見つむる殘暑 同
同郷なれどツイ親まぬ殘暑人 同
いつもの半打明り様ダイヤ／＼と殘暑を賭。 同

○子規忌俳句會 (時日)九月二十三日午後一時より(場所)本町二丁目京城バザー樓上、兼題(席五句。會費十五錢。多數各派俳人の參會を歡迎す(主催)沈香會同人

新刊紹介

▲朝鮮彙報(九) 口繪に鮮麗なる龍岡邑の道洞池口、全北金山寺の七重塔、農局模範場の草果栽培狀況、京畿道の優良苗等の寫眞あり記事としては鮮滿鐵道の統一(入見鐵道局長)李朝の土地制度と高麗との連續(淺見判事)近年の農事(平田觀測所長)發電水力調査(遞信局李學五百年間に於る模範的(安婆)石橋(渡邊彰)等蠶業に關する調査、警務局其他行政、財政及金融、產業、交通及土木、學事、司法及警察、地方通信、雜報、敍任辭令、統計、法令及通牒、判決例等材料極めて豐富なり(一部二十五錢各書店發賣)

▲熊澤蕃山言行錄(島田秋更著)『蕃山の生立と背景』『蕃學時代』『戰政參與の時代』外數章最後に『蕃山年譜』を添ゆ(一冊三十五錢東京牛込神樂町東亞堂書房)

▲シントイズム(二) 神道の最高なる思想を現代的に鼓吹したる文學雜誌なり(一部十錢四谷區祥寺町八六千家邸內シントイズム社)

▲熱風冷評(高島米峰著)米峰氏一流の暢舌御伽を始めさして世間に對する所謂る熱諷冷評を忌憚なく試みたる冊子なり(一冊一圓東京小石川原町六丙午出版社)

▲義憤せる白耳義國民(白耳義公使ドラフアイユ伯著)曰く、暴戾なる占領國の虐政と我か被占領國民の悽慘たる現狀とに三百白耳義事情に關し表題の小冊子公刊致候に付ては御一讀の光榮を賜り度く玆に端呈申上候、白耳義國公使伯爵ドラフアイユ(非賣品)

▲青年雄辯(二の九)早大改革號として天野派の伍に氣焰を擧げたる言議を輯ぐ(一部二十錢東京牛込矢來町青年雄辯編輯局)

▲人格と幸福(五の九) 一部六錢京城萬華小路明治教會

▲俳句世界(一の二) 一部十八錢東京牛込西五軒町三五共社

▲英語の日本(十一の五) 一部十一錢東京神田表神保町三建文館

▲安全第一(內田逓信次官著) 一部二十錢東京麴町三丁目丁未出版社

▲極東時報(三六) 東京築地明石町三二共社

▲木太刀(十五の九) 一部十八錢東京牛込築地町一二共社

▲海紅(三の七) 一部二十四錢東京下谷上根岸八二の二九共社

▲ＳＮＡＫＥ(三の九) 一部二十錢東京麴町上六番町四三號會

▲大正六年度東京府各學校入學試驗及び模範答案 一部三十錢東京牛込濟町三二武田芳進堂

▲地方行政(二五の九) 一部十五錢東京々橋加賀町帝國地方行政學會

▲今樣 東京神田錦町松居版舍

▲電氣學校の盛況 東京神田錦町所在財團法人電機學校は既に卒業生千八百十五名を出し現在校内生千七百七十名校外生千二百名本科講習生千三百名豫科講習生千五百名を有し出版部よりは電氣書類廿八種を出版し電氣工學教授の學校中特色ある教授振に於て斯界の權威たるは既に定評あり、來る十月十一日新學期開始に附き生徒募集中なるが經近電氣工業の勃興に連れ入學者頓に激增し前學期の如きは實に一千名以上の校内生を數し四百七十六坪の校舍も益に狹隘を告げたるを以て昨年二百九十二坪の校舍增築工事を取急ぎつゝあり增築竣成の曉は入學者收容力の倍加すべきは勿論同校は之に對する諸般の準備に怠りなく殊に化學實驗室の設備を完全にすべしと

讀者の領分

京城附近にも隨分名勝古蹟がある平壤や開城あたりには其れ／＼保勝會が出來て名勝古蹟の保存に苦心して居るのに京城には其計畫のないのは如何云ふ譯です府當局者から率先して行つて貰ひたいものだ(古蹟保存論者)▲訓鍊院はどう利用する積りでせうか京城の東公園を作つては如何です(献識生)▲此の間東大門小學校は雨の日や風の日に可憐な小兒の通學が思ひ遣られると論議した人があつたが私もそう考へますあの訓練院の利用策として京城の東公園を計畫しては如何ですさすれば斯かる批難は消滅するに極つて居る敢て府當局に望む(一平民)▲街頭に立ちて徒に大言壯語し妙法蓮華アーメンと言ふ事を止めよそは神の國は言に在るに非ず能にあればなり「コリント前書四、二〇」多聞ありと雖も修行せざれば不聞に等し人食を說くも終に飽くこと能はざるが如し「楞嚴經」眞理と云ふべし先づ自らを修めて生ける宗教となせ是れ傳道の第一義なり(今獨啓)▲京城の豆腐屋が値上げしたが中には特別勉强で値段從來の通り通帳の御得意樣には總て是迄での三割引にて差上げると云ふのもある世は樣々だ(豆腐屋)▲新龍山の某町の一本筋の細君よ夫が年中出張不在中を宜いことにして朝から晩まで近所の細君連を捉へて他人の蔭口ばかり叩いて居る夫れが爲め思ひも寄らぬ爭ひを生ずる事がある少しは旅の空で働く夫を思ひなさいお前さんの樣な閑人に相手になる程呑氣な人は近所に無いからねチツトは他人の迷惑と云ふことを考へるがよい(迷惑の一人)

大阪株式特電

十六日前場

合同紡織	八七、一〇	八八、四〇
鐘淵紡績	二四三、五〇	二三八、五〇
同新株	二二四、五〇	二一八、六〇
東洋製糖	一五五、八〇	[illegible]
大阪商船	二一一、〇〇	二〇八、五〇
日本郵船	三四二、〇〇	三三七、四〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

付廿圓八十錢 ▲先限寄付二十四六十六錢

十七日後場 寄付 [illegible]

下關期米特電

十七日後場(小日和) 寄付 中限 先限 二〇、二九 二〇、二七 一九、七〇

新秋九月！

お化粧の樂しい初秋が參りました

暑い間怠つてゐたお肌の手入れがこれからは一層肝要でございます

秋の日ヤケを防ぎ美人となる化粧料

光榮ある家庭化粧料

ホーカー液

全國の小賣屋さんは化粧液と云へば必らずホーカー液をお客樣にお勸めします

秋の素肌を美しく艶やかに

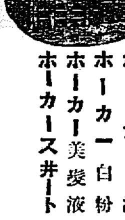
初秋の風が袂を吹いて淸凉の氣、朝に夕に滿つる頃となりました夏中怠つてゐた素肌のお手入れをなさるには今が一番大切な時でムいます、朝夕の洗面後は朝露の樣なホーカー液の一二滴をお塗けになれば、スベスベとしたお肌となります、毎日缺かさず日課の樣にお塗け下さる事を皆樣にお勸め致します。

御家庭の紳士淑女お子供衆に

安心してお使用の出來るお化粧液はホーカー液より他にありません、高貴原料を多量に配劑したホーカー液は、御家庭は勿論、御旅行にも缺くべからざる化粧液でムいます、男子用としてはヒゲソリ後に用ひて剃刀マケを防ぎスベ／＼として快感を與へ飾らざる裡に優雅な風采を備へます。

全國到る處の小間物屋化粧品店藥店等に販賣せり

□品切の節は直接本舗へ振替又は三錢切手代用にて御注文下さい



ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカー美髮液
ホーカースキート

本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 電話[特長]一四三 神田[長]一四四・一四五 振替口座東京一五六番

▲書籍御案內▼

牛 米藏本 價一〇〇 郵稅一〇
商工界の七十日 同三版 價五〇 郵稅六
修學行商日記 同壹版 價三五 郵稅六
紐育市內外の地所 同二版 價九〇 郵稅六
女義士傳 民友社發行 價五〇 郵稅八
京城日報代理部(振替京城三〇〇番)

公債 株式 勸業債券 現物賣買 京城吉野町二丁目九十五 古閑商店 電話三十番

新荷著 懷中時計 スイス製 アンクル機械

懷中時計(▲印はワンタム入) ニッケル側十八形 ほか各種

右は今回新着の商品にて本商會より直接御買上げ被下候へば御注文に對し御便宜相計可申候 小包郵便にて御送附申上候

時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商 イングレッシー商會 本店 京城本町二丁目 電話九七二番

富の道しるべ ▲山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通京城日報社代理部 振替三〇〇番

金泉榮州間自動車發著時刻 金泉支部 居自動車部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行 ○和歌浦丸 九月廿七日後五時出帆 ○立神丸 九月廿六日後十時出帆
元山、淸津、浦鹽行 ○和歌浦丸 九月 日後四時出帆 ○立神丸 九月 日後六時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 ○第三琴平丸 九月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 ○第三琴平丸 月 日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 ○天眞丸 毎月二日九日十六日廿三日(四回)午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行 第廿共同丸 九月十九日午後入港 九月廿一日後十時出帆
仁川代理店 本町四丁目 野口商會(電話一七三番) 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船仁川出帆 本社 京城 電話一九五二番 京城南大門通 松原運送店
大阪商船仁川出帆
日本郵船仁川出帆 大連行、太沽(天津)牛莊行
尼崎汽船仁川出帆 仁川海岸通 高杉回漕部

場況

商	安値	十七圓二十八錢
平均	二十一銭	十七圓二十四錢
		十七圓二十五錢